



寒川町立学校のめざすべき望ましい教育環境に関する アンケート報告書【速報版】

令和3年 12 月

寒川町教育委員会

目 次

I アンケートの概要

1	目的	5
2	調査期間	5
3	調査方法	5
4	調査対象、サンプル数及び回収率	5
5	結果の見方と留意点	5

II アンケート結果

1	回答者の属性	9
2	小・中学校における望ましい学校教育について	13
3	1学級（クラス）あたりの児童・生徒数について	18
4	1学年あたりの学級数について	21
5	学校の適正規模・配置の検討について	31

III 参考資料

1	単純集計表	41
2	寒川町立学校のめざすべき望ましい教育環境に関するアンケート	51

I アンケートの概要

I アンケートの概要

1 目的

少子化等の進行により本町の児童・生徒数が減少するとともに、学校施設の老朽化などの様々な課題が生じてくる中で、「寒川町立小・中学校適正化等検討委員会」を設置し、子どもたちにとって良好な学校教育環境の実現に向けた学校再編について、保護者、教職員、町民の意向を把握し、検討するため、約 5,600 名（人口比約 12%）を対象にアンケートを実施した。

2 調査期間

令和 3 年 10 月 1 日（金）～10 月 20 日（水）

3 調査方法

郵送及び各学校に配付

4 調査対象、サンプル数、調査方法及び回答数

対 象	サンプル数	調査方法	回答数
保護者	3, 8 4 2 人 (R3. 10. 1 時点の児童・生徒数) 3, 1 4 6 戸 (R3. 10. 1 時点の家庭数)	学校配付	1, 8 0 7 人 (5 7. 4 %)
町民	1, 5 0 0 人 (無作為抽出)	郵送	4 1 5 人 (2 7. 7 %)
教職員	2 3 0 人 (県費教職員)	学校配付	1 3 3 人 (5 7. 8 %)
計	5, 5 7 2 人 (4, 8 7 6 人)	—	2, 3 5 5 人 (4 8. 3 %)

5 結果の見方と留意点

(1) 本文（Ⅱ 調査結果）は、設問ごとに次の 3 つで構成する。

①全体（全ての回答の集計結果）

②属性別（保護者、一般 [町民]、教職員、それぞれの集計結果）

(2) 本文中の「n」は、設問に対する回答者数である。

- (3) 選択肢から複数回答する設問は、回答者数に加え、選択された回答数の合計を「件数」で表している。

例 $n = \text{●●●}$ (複数回答) ●●●● 件

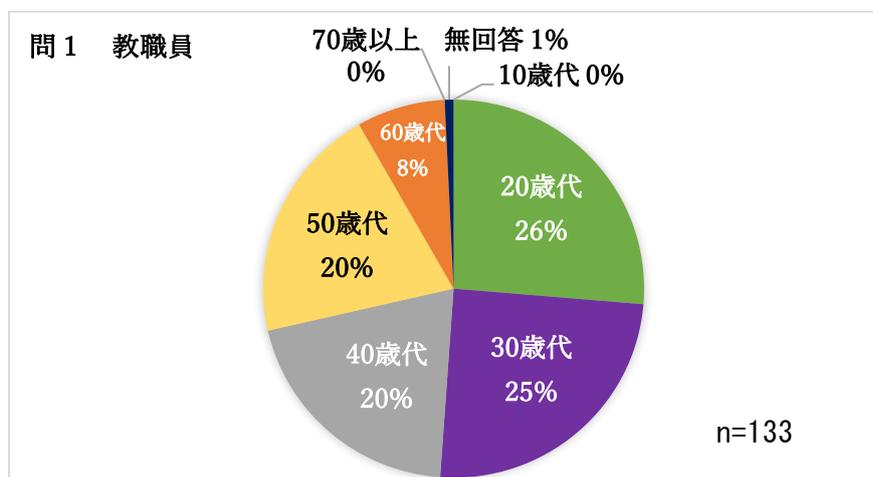
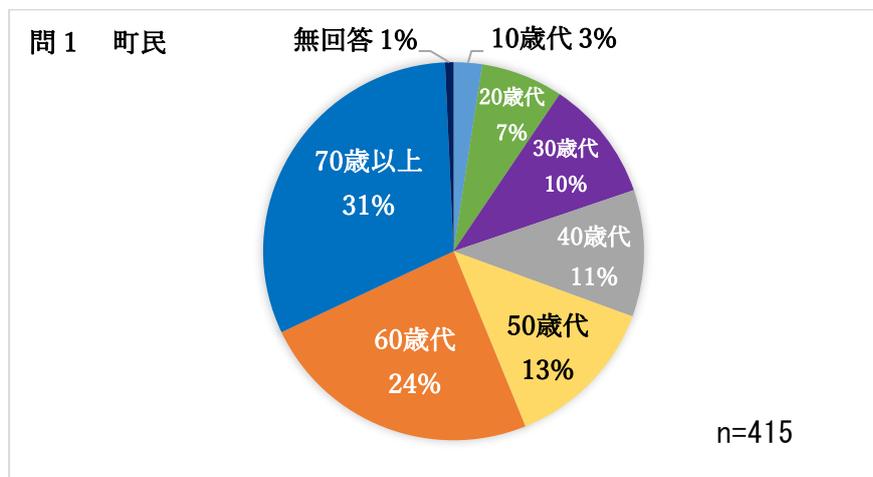
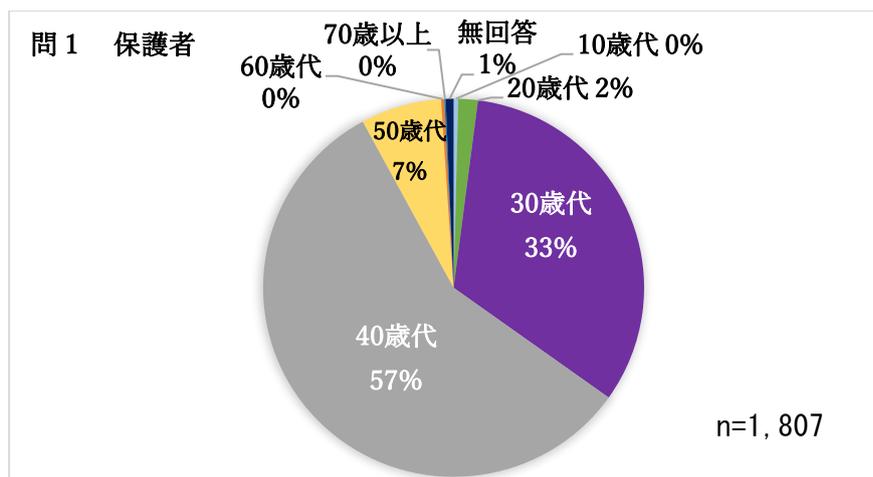
- (4) 集計結果を表すグラフでは、数値の小数点第1位を四捨五入して表示しているため表記上、内訳数値の合計が100%にならない場合がある。

Ⅱ アンケート結果

Ⅱ アンケート結果

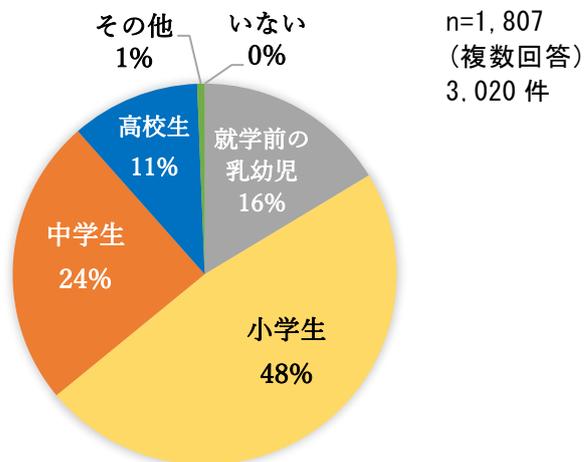
1 回答者の属性

問1 あなたの年齢をお答えください。



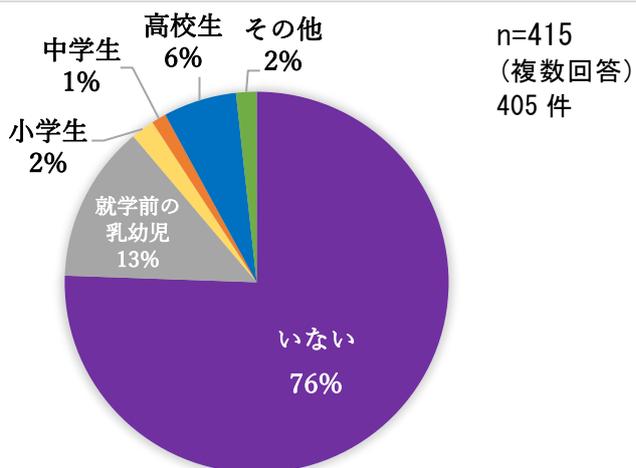
問2 あなたの世帯の18歳以下の方の就学等の状況について、該当するものをすべてお答えください【複数回答可】。

問2 保護者



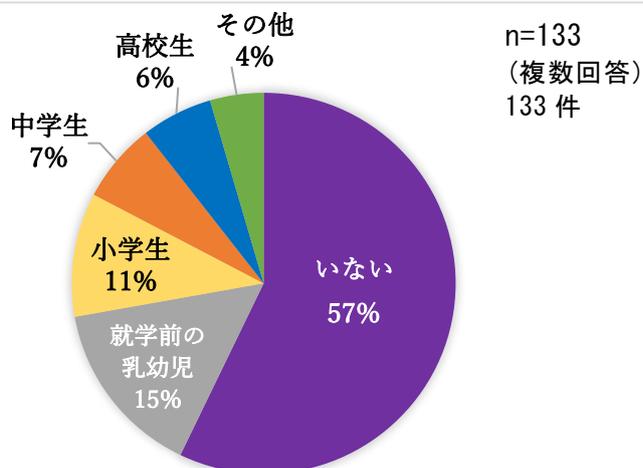
n=1,807
(複数回答)
3,020件

問2 町民



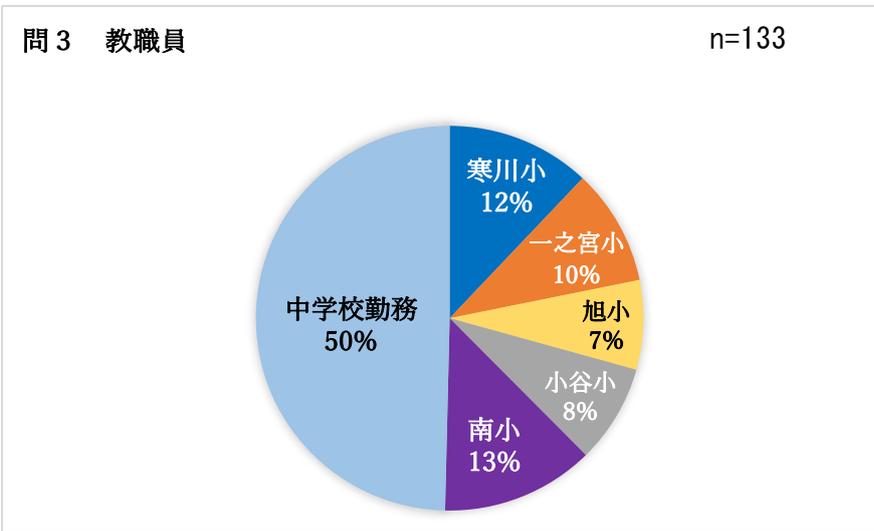
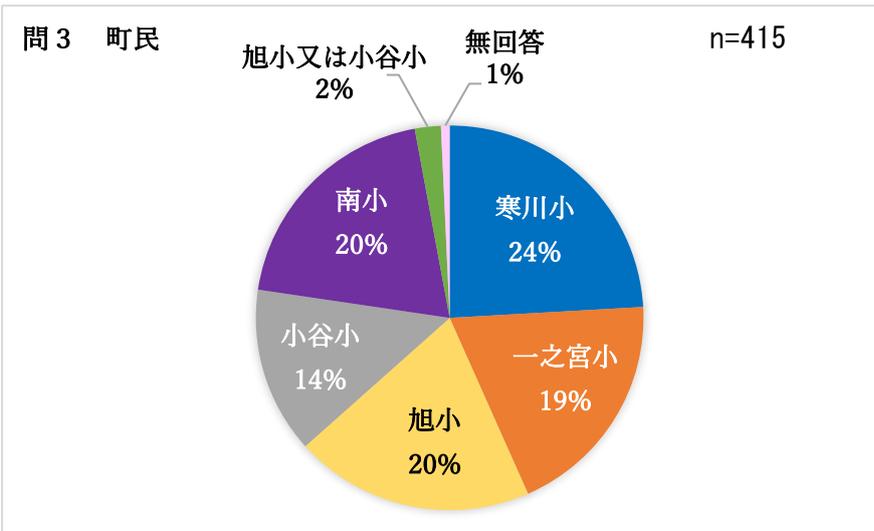
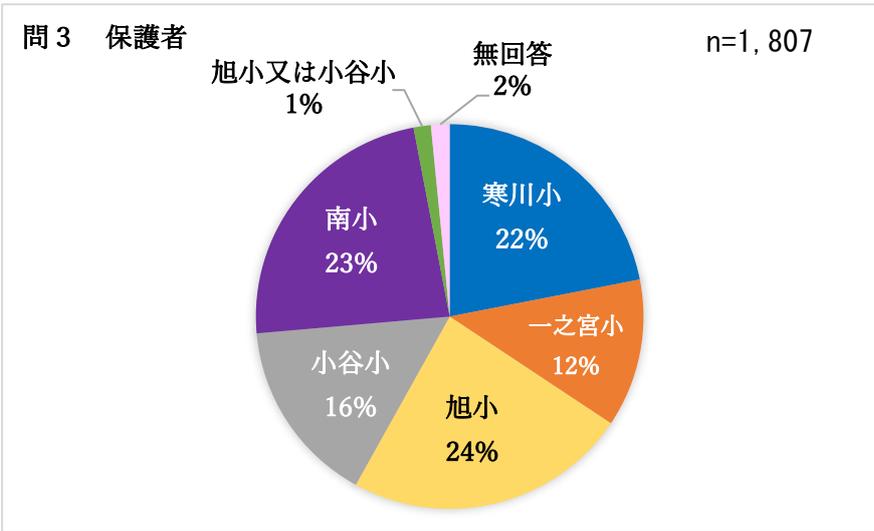
n=415
(複数回答)
405件

問2 教職員



n=133
(複数回答)
133件

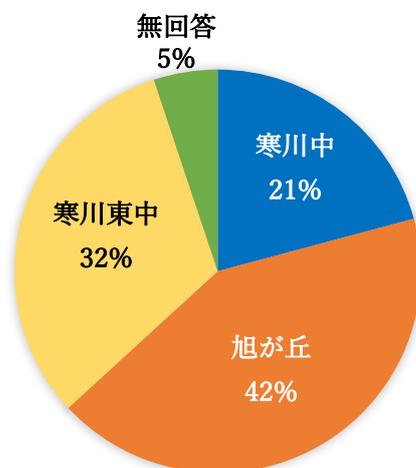
問3 あなたがお住まいの小学校区はどちらですか。



問4 あなたがお住まいの中学校区はどちらですか。

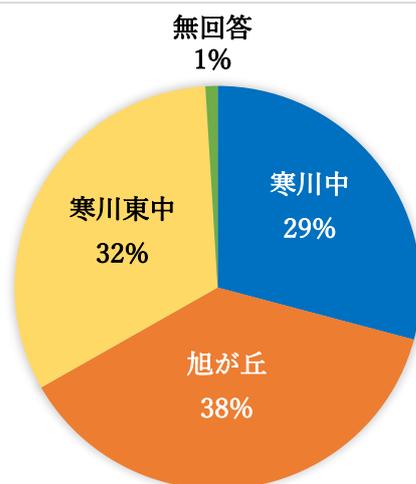
問4 保護者

n=1,807



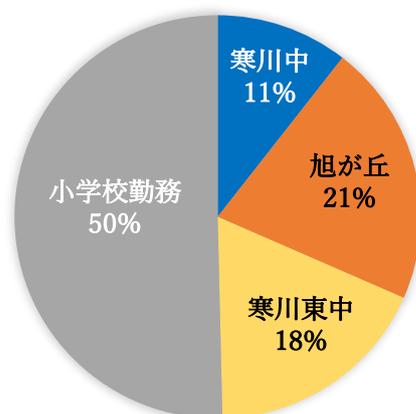
問4 町民

n=415



問4 教職員

n=133

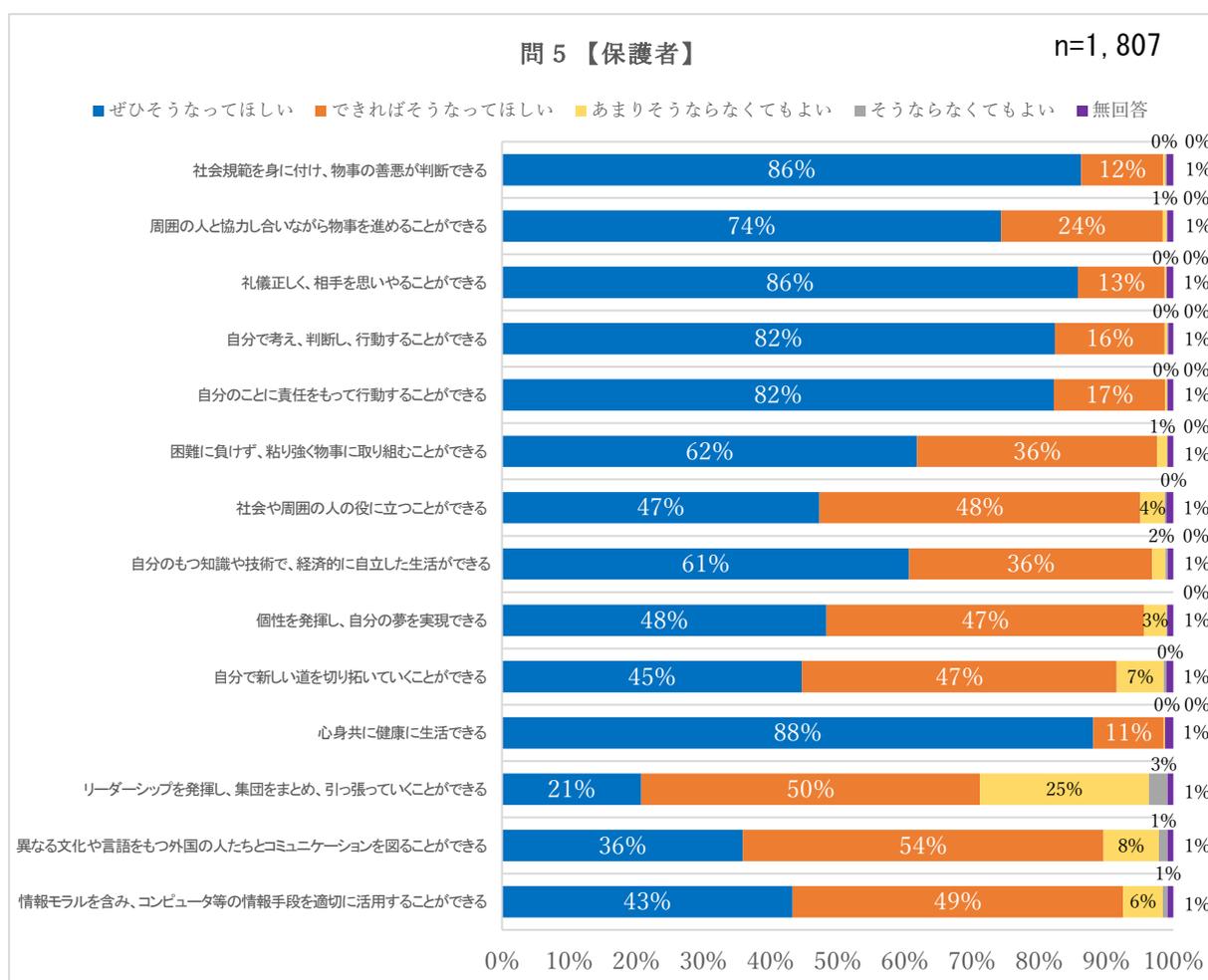


2 小・中学校における望ましい学校教育について

問5 期待する子どもの将来の姿はどのようなものですか。
次の1～14の項目について、あなたの考えに近いものを1つずつ選んでください。

(1) 保護者

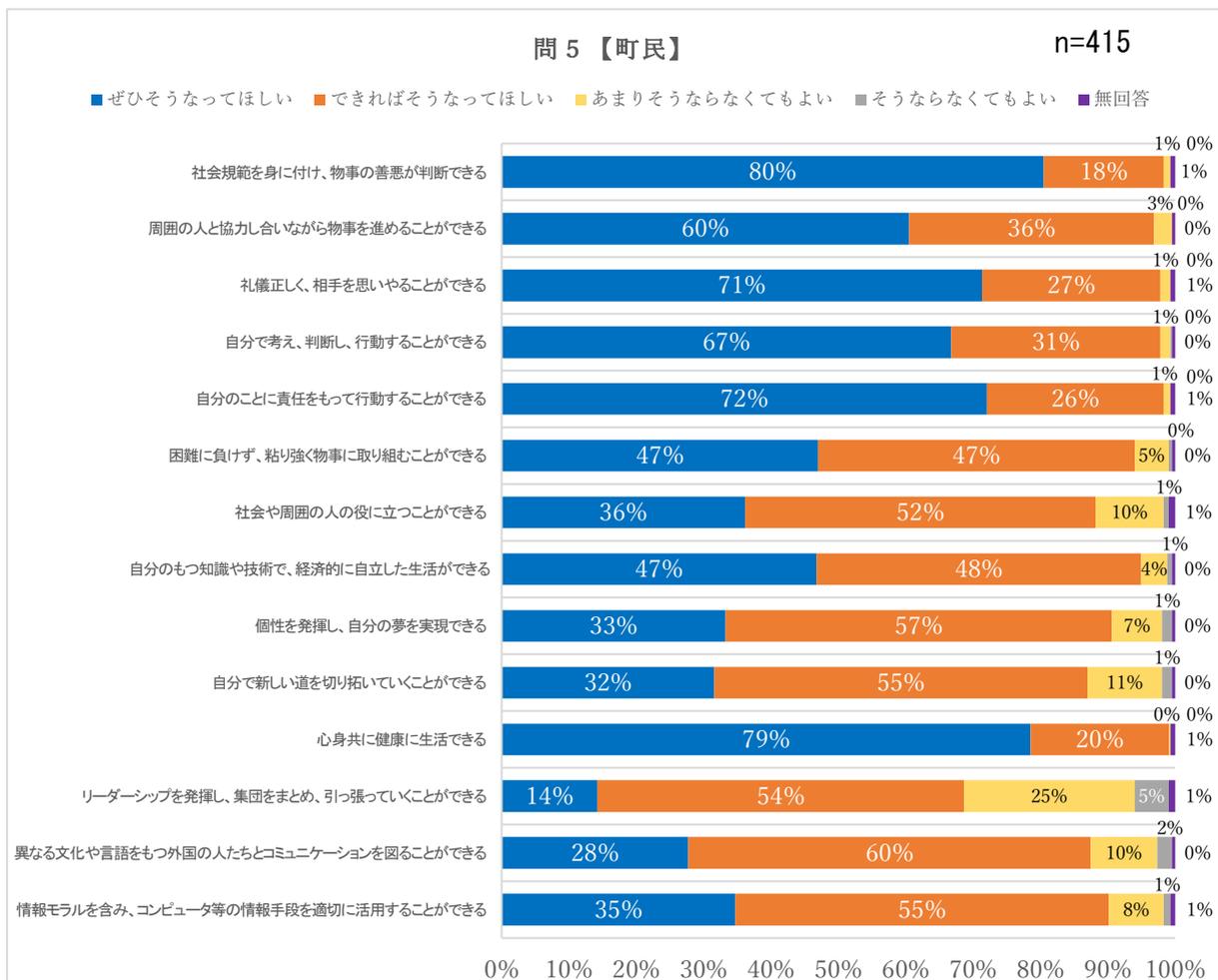
全体としては、ほぼ全ての項目について、9割程度の肯定的な回答が出ている。とりわけ、「ぜひそうなってほしい」という回答では、生きる上での基盤となる「心身共に健康に生活できる」が最も多く、次いで「社会規範を身に付け、物事の善悪が判断できる」「礼儀正しく、相手を思いやることができる」「自分で考え、判断し、行動することができる」「自分のことに責任をもって行動することができる」が続くことから、徳育・体育の面での成長への期待が大きいことが分かる。また、知育の面からも、思考力・判断力・表現力、外国語によるコミュニケーション能力、情報活用能力についても期待されていることが分かる。なお、リーダーシップに関する項目については、肯定的な回答が最も少なかった。



(2) 町民

保護者同様、全体としては、ほぼ全ての項目について、9割程度の肯定的な回答が出ている。とりわけ、「ぜひそうなってほしい」という回答では、モラル面での「社会規範を身に付け、物事の善悪が判断できる」が最も多く、次いで「心身共に健康に生活できる」「自分のことに責任をもって行動することができる」「礼儀正しく、相手を思いやることができる」「自分で考え、判断し、行動することができる」が続くことから、保護者同様、徳育・体育の面での成長への期待が大きいことが分かる。また、知育の面からも、思考力・判断力・表現力、外国語によるコミュニケーション能力、情報活用能力についても期待されていることが分かる。

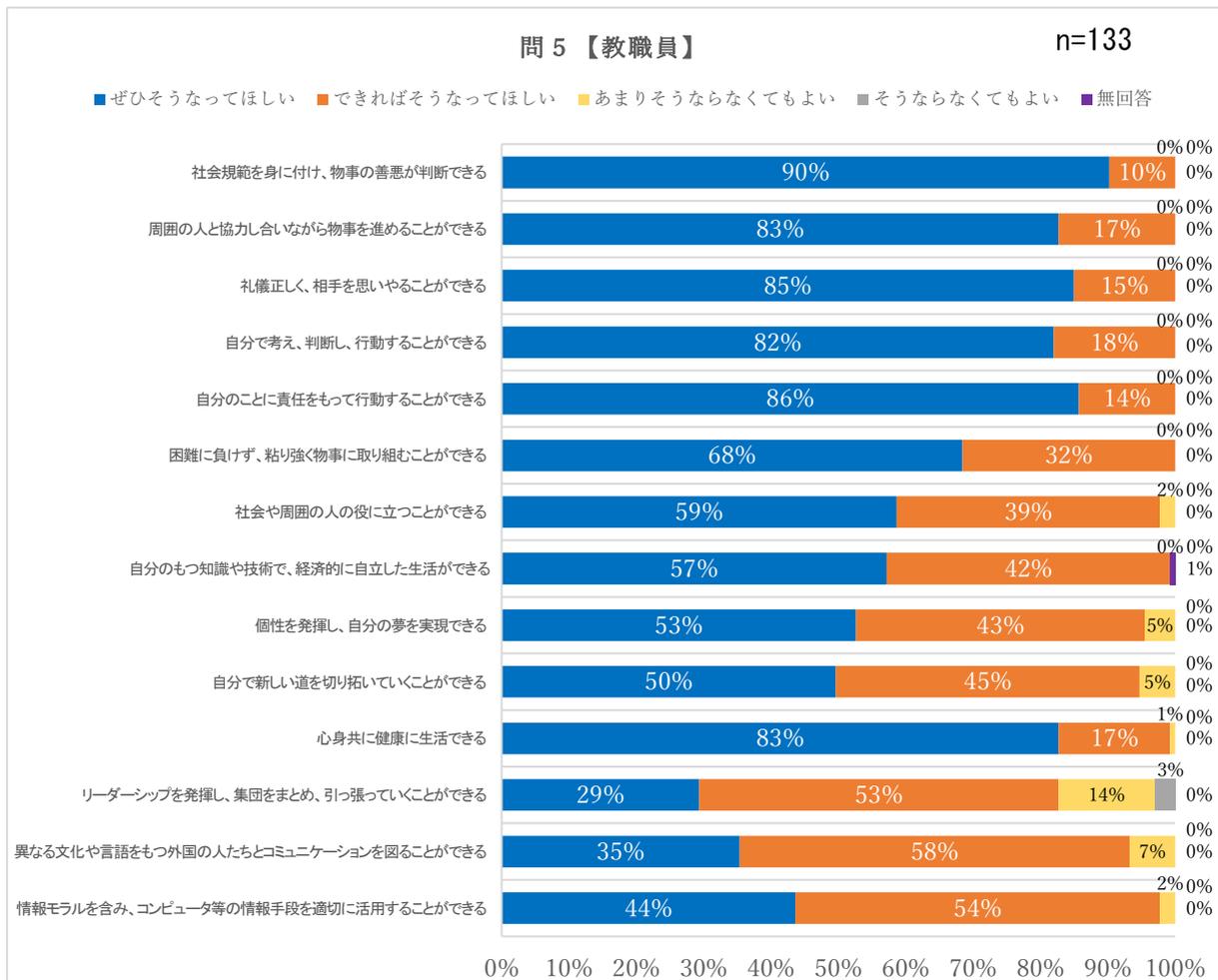
なお、リーダーシップに関する項目については、肯定的な回答が最も少なく、保護者よりもさらに顕著である。



(3) 教職員

保護者、町民同様、全体としては、ほぼ全ての項目について、9割程度の肯定的な回答が出ている。とりわけ、「ぜひそうなってほしい」という回答では、モラル面での「社会規範を身に付け、物事の善悪が判断できる」が最も多く、次いで「自分のことに責任をもって行動することができる」「礼儀正しく、相手を思いやることができる」「心身共に健康に生活できる」「周囲の人と協力し合いながら物事を進めることができる」「自分で考え、判断し、行動することができる」が続くことから、保護者、町民同様、徳育・体育の面での成長への期待が大きいことが分かる。心身の健康的な成長について、保護者、町民と比べて優先順位がやや低いようである。また、知育の面からも、思考力・判断力・表現力、外国語によるコミュニケーション能力、情報活用能力についても期待されていることが分かる。

なお、リーダーシップに関する項目については、肯定的な回答が最も少ないものの、8割を超えており、保護者、町民の方が顕著である。



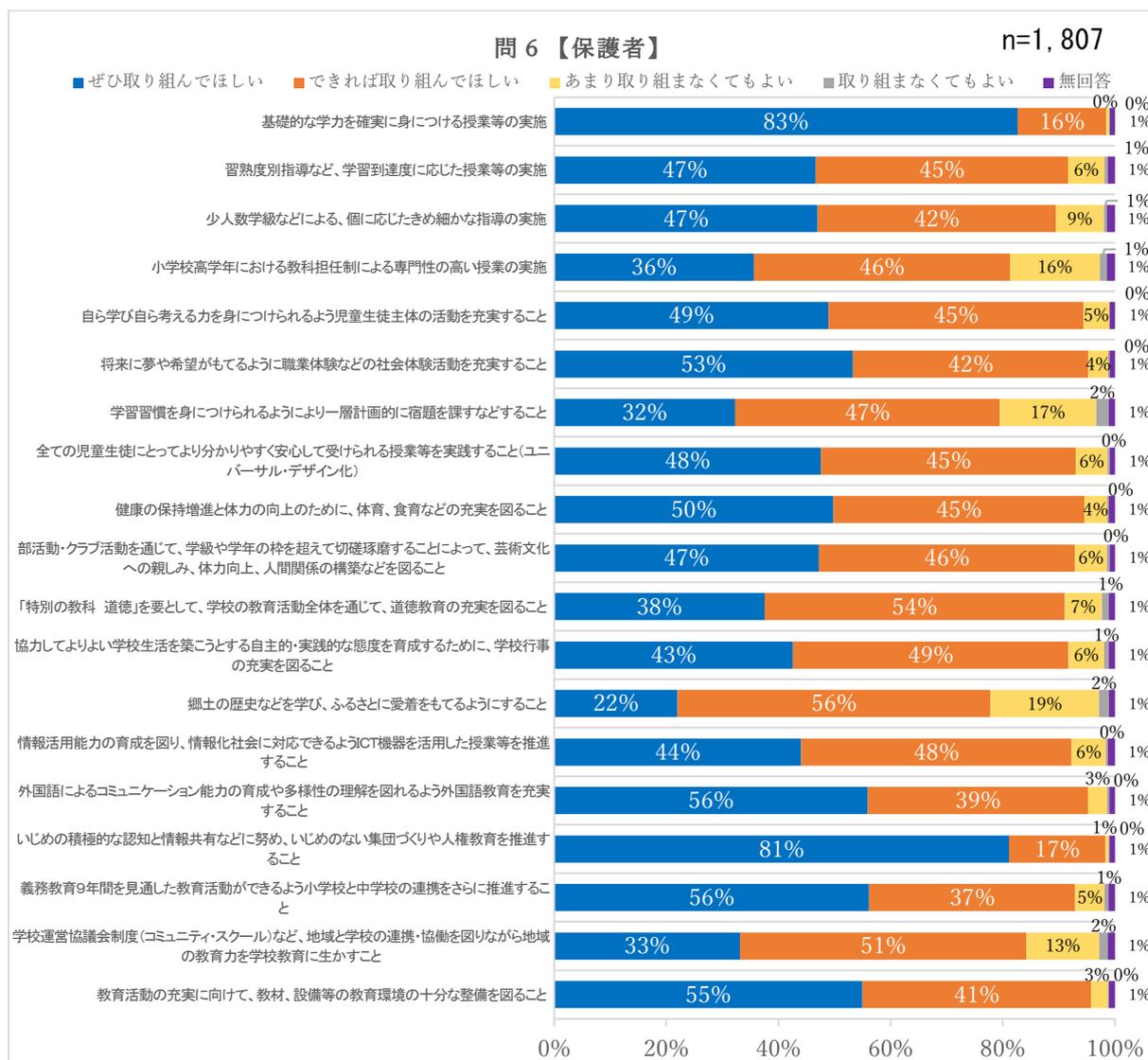
**問6 小・中学校において、次の1～19の項目について、どの程度力を入れて取り組んでほしいですか。
あなたの考えに近いものを1つずつ選んでください。**

(1) 保護者

全体としては、ほぼ全ての項目について、7割以上の肯定的な回答が出ている。また、町で推進している情報教育及び外国語教育に関する項目についても、肯定的な回答が多くなっている。

とりわけ、「ぜひ取り組んでほしい」という回答では、「基礎的な学力を確実に身につける授業等の実施」「いじめの積極的認知と情報共有などに努め、いじめのない集団づくりや人権教育を推進すること」は、非常に高い割合で力を入れるべき項目となっている。

反対に、「郷土の歴史などを学び、ふるさとに愛着をもてるようにすること」「学習習慣を身につけられるようにより一層計画的に宿題を課すなどすること」「学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）など、地域と学校の連携・協働を図りながら地域の教育力を学校教育に生かすこと」については、「ぜひ取り組んでほしい」の割合が2～3割台にとどまり、肯定的な回答も、やや伸び悩んでいる。

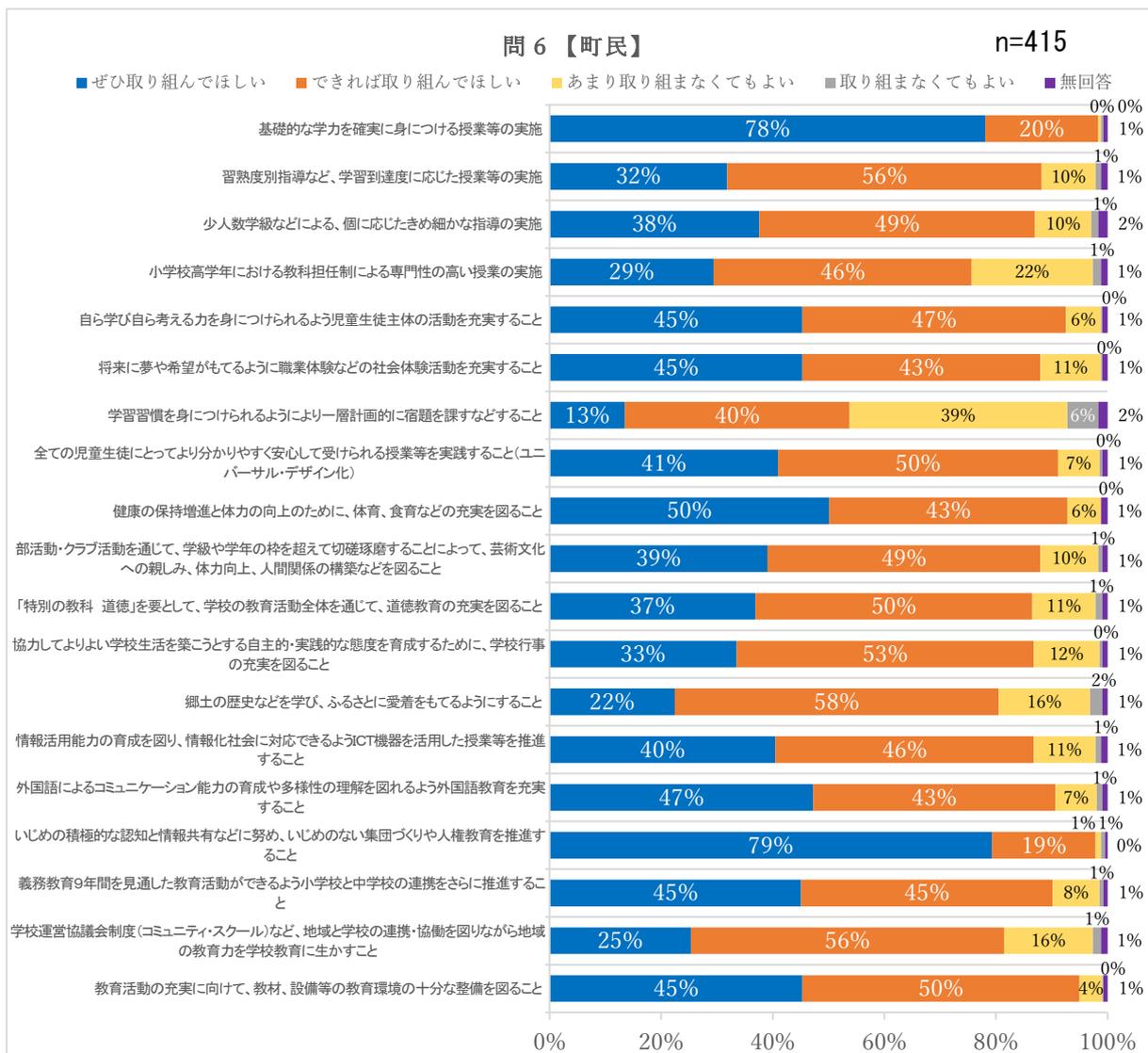


(2) 町民

保護者同様、全体としては、ほぼ全ての項目について、7割以上の肯定的な回答が出ている。また、町で推進している情報教育及び外国語教育に関する項目についても、肯定的な回答が多くなっている。

「ぜひ取り組んでほしい」という回答について、保護者、教職員に比して全体的に少ない割合となっている。「ぜひ取り組んでほしい」という回答では、「いじめの積極的認知と情報共有などに努め、いじめのない集団づくりや人権教育を推進すること」「基礎的な学力を確実に身につける授業等の実施」は、非常に高い割合で力を入れるべき項目となっている。

反対に、「学習習慣を身につけられるようにより一層計画的に宿題を課すなどすること」「郷土の歴史などを学び、ふるさとに愛着をもてるようにすること」「学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）など、地域と学校の連携・協働を図りながら地域の教育力を学校教育に生かすこと」については、「ぜひ取り組んでほしい」の割合が1～2割台にとどまっており、保護者同様であるが、さらに顕著である。

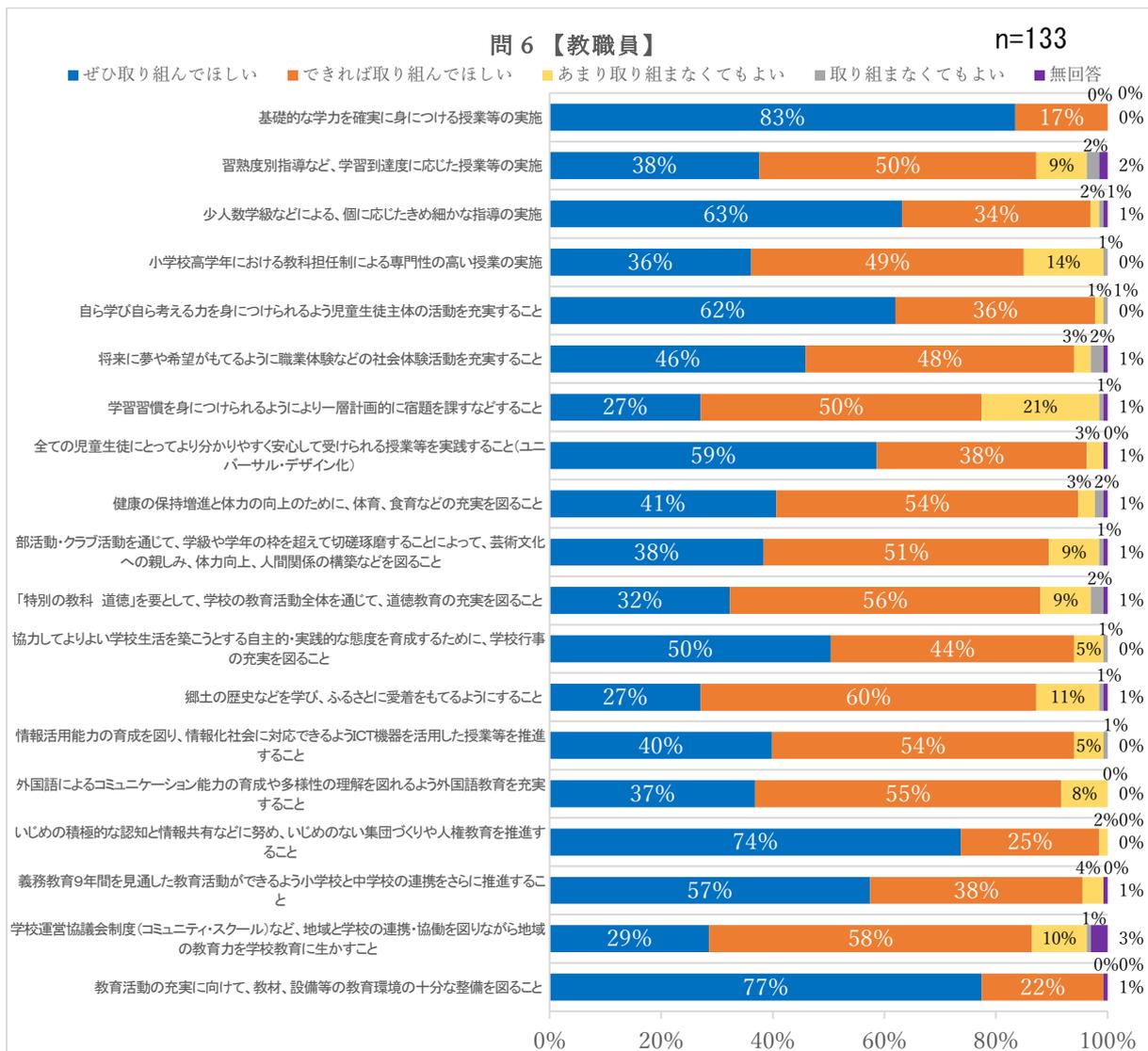


(3) 教職員

全体としては、ほぼ全ての項目について、8割以上の肯定的な回答が出ている。また、町で推進している情報教育及び外国語教育に関する項目についても、肯定的な回答が多くなっている。

とりわけ、「ぜひ取り組んでほしい」という回答では、保護者、町民と同様、「基礎的な学力を確実に身につける授業等の実施」「いじめの積極的認知と情報共有などに努め、いじめのない集団づくりや人権教育を推進すること」は、非常に高い割合で力を入れるべき項目となっている。教職員では、加えて、「教育活動の充実に向けて、教材、設備等の教育環境の十分な整備を図ること」「少人数学級などによる、個に応じたきめ細かな指導の実施」について、保護者、町民よりも高い傾向がある。

保護者、町民と同様、「郷土の歴史などを学び、ふるさとに愛着をもてるようにすること」「学習習慣を身につけられるようにより一層計画的に宿題を課すなどすること」「学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）など、地域と学校の連携・協働を図りながら地域の教育力を学校教育に生かすこと」については、「ぜひ取り組んでほしい」の割合が2～3割台にとどまっている。



3 1学級（クラス）あたりの児童・生徒数について

問7 小学校の1学級あたりの児童数について、どの程度がよいと考えますか。
あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

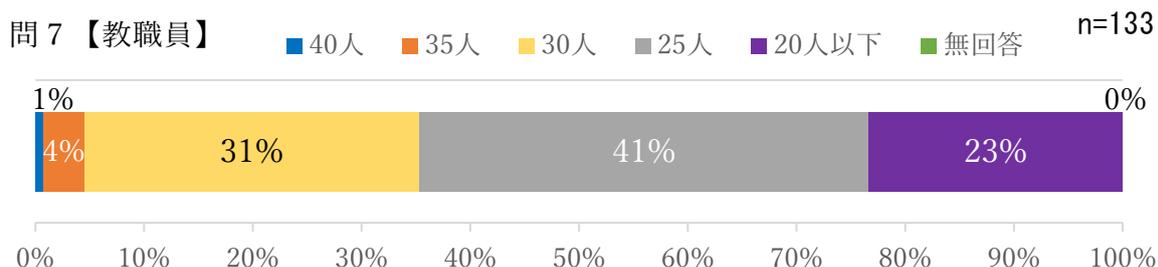
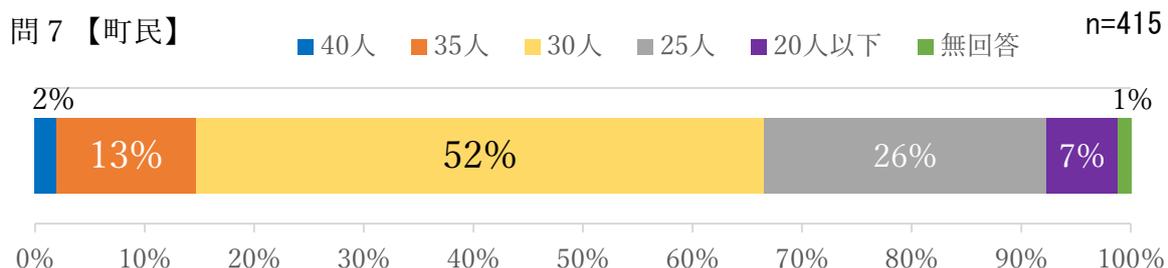
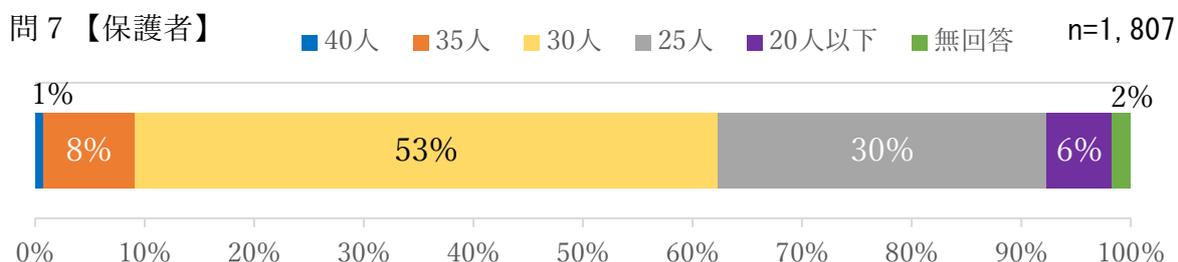
保護者・町民・教職員

国の法律改正により、令和3年度から小学校の学級編制の標準（1学級あたりの児童数）を5年間かけて毎年度1学年ずつ計画的に40人（すでに小学校第1学年は35人）から35人に引き下げることとなった。児童一人ひとりのニーズに応じたきめ細かな指導体制に向けた効果が期待されている。

そのような中、全ての属性において、1学級あたりの児童数が40人及び35人を希望する回答は少数であった。保護者、町民においては、1学級あたり30人と回答する割合が過半数を占め、最も多くなった。次いで、25人学級への回答が多くなり、国が考える人数よりも少ない人数の学級が求められている結果となった。

現在、町内5小学校の1学級あたりの平均児童数は約29.8人となっており、最も多い回答である30人が現状の実態と一致していると言える。今後、順次35人学級が進んでいけば、実質的な1学級あたりの平均児童数もさらに下がる可能性があるが、今回の結果からは、25人を下限と考える意見が多いと見ることができる。

教職員については、25人学級が最も多くの回答となり、次いで30人学級、20人学級、35人学級となっており、さらに少人数学級を望む声があることが伺える。



**問 8 中学校の1学級あたりの生徒数について、どの程度がよいと考えますか。
あなたの考えに近いものを1つ選んでください。**

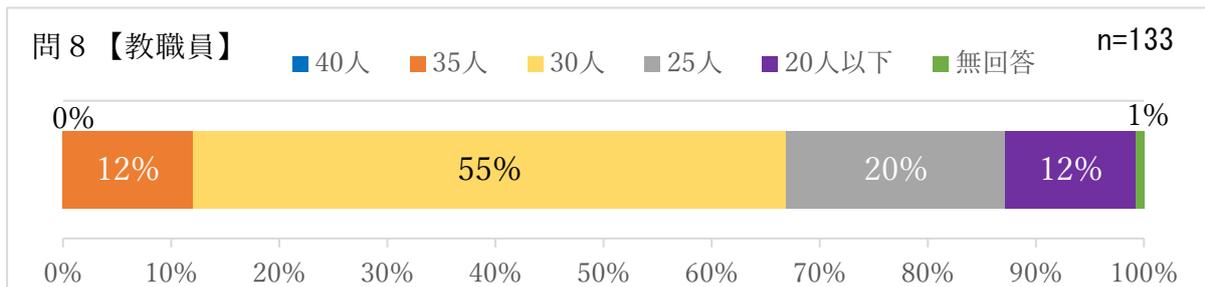
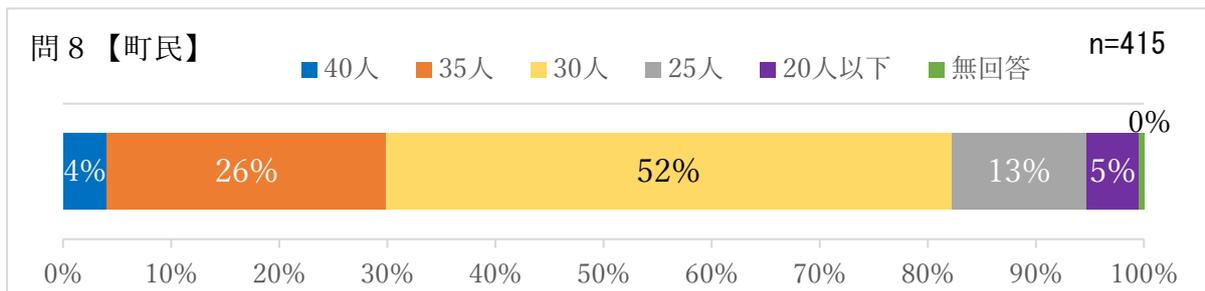
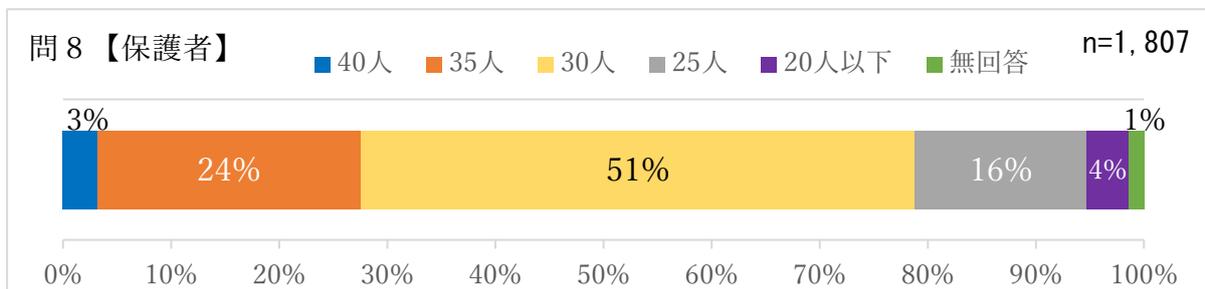
保護者・町民・教職員

政府の教育再生実行会議は令和3年6月、新型コロナウイルス感染症収束後の新たな学びに関する提言をまとめ、公立小学校で段階的に実施している「35人学級」については、効果を検証した上で、中学校を含めて望ましい指導体制を検討するよう求めたところである。

そのような中、すべての属性において、小学校同様、1学級あたり30人と回答する割合が過半数を占め、最も多くなった。次いで、保護者、町民においては、35人、25人、20人の順となった。小学校と異なり、35人と希望する回答が2番目となったことから、中学校については、集団として、ある一定の人数がいる方がよいとの考えがあるのかもしれない。

現在、町内3中学校の1学級あたりの平均生徒数は約35.3人となっている。最も多い回答である30人と現状を一致させていくためには、35人学級が中学校にも導入することを検討することが必要であると言える。

教職員についても、1学級あたりの生徒数を30人とする回答が最も多く、過半数を占めることとなった。しかし、2番目に多い回答が25人となり、続いて35人と20人学級が同じ割合の回答となっている。保護者、町民よりもさらに少人数学級を望む傾向があることが伺える。



4 1学年あたりの学級数について

問9 小学校の1学年あたりの学級数は、どの程度がよいと考えますか。
あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

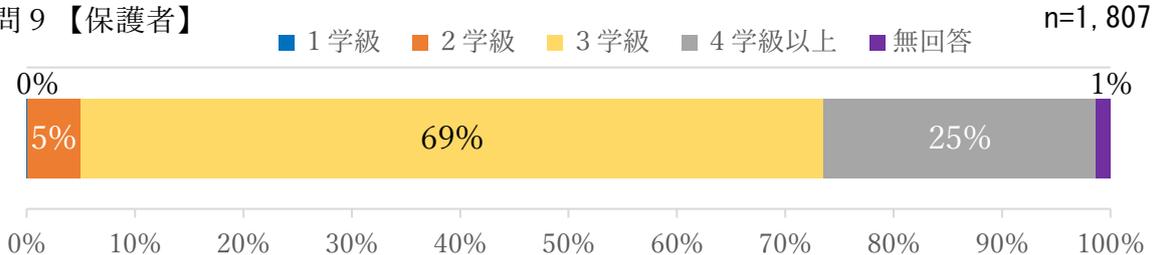
保護者・町民・教職員

国の考えとして、小学校では、まず複式学級を解消するためには少なくとも1学年1学級以上（1校あたり6学級以上）であることが必要としている。また、全学年でクラス替えを可能としたり、学習活動の特質に応じて学級を超えた集団を編成したり、同学年に複数教員を配置するためには1学年2学級以上（1校あたり12学級以上）あることが望ましいものと考えられている。さらに、適正な学校規模として、12学級以上18学級以下、つまり1学年あたり平均2学級以上3学級以下という基準が示されているところである。

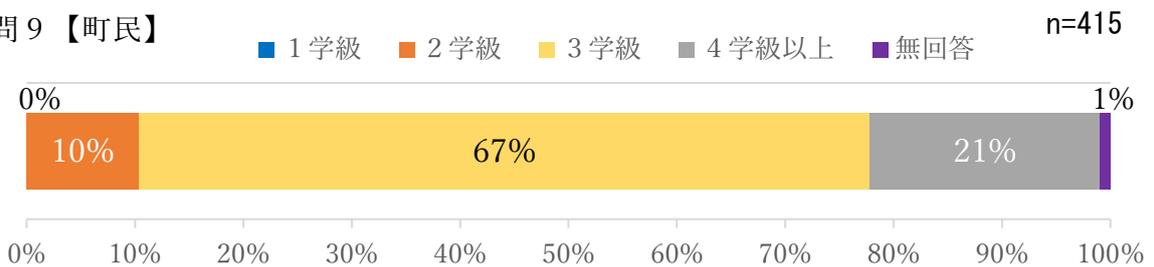
そのような中、全ての属性において、3学級が最も多い回答で、大幅に過半数を超えている。次いで、4学級、2学級となっており、1学級の回答はほとんどなかった。学校の規模が小さい、つまり学級数が少ないことによるメリット、デメリットが国からも示されているところであるが、デメリットを大きく感じていることが推測される。この傾向は、教育現場により近い教職員ではより顕著である。

現在、町内5小学校の1学年あたりの平均学級数は約2.8学級となっているが、各学校別に見た場合は、1学年あたり2学級という学校もあり、将来に向けての検討が必要である。

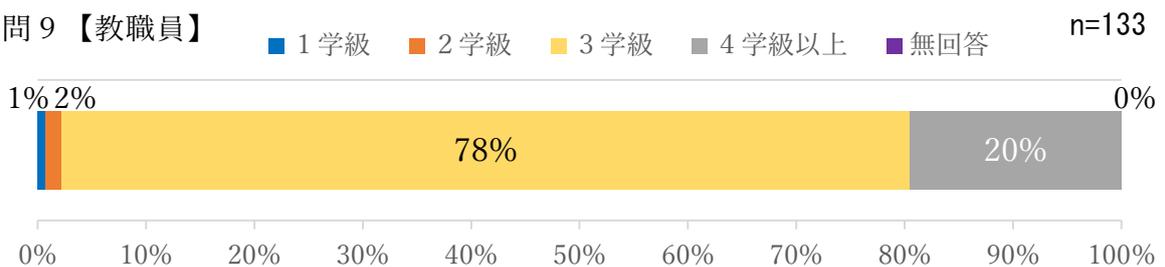
問9 【保護者】



問9 【町民】



問9 【教職員】

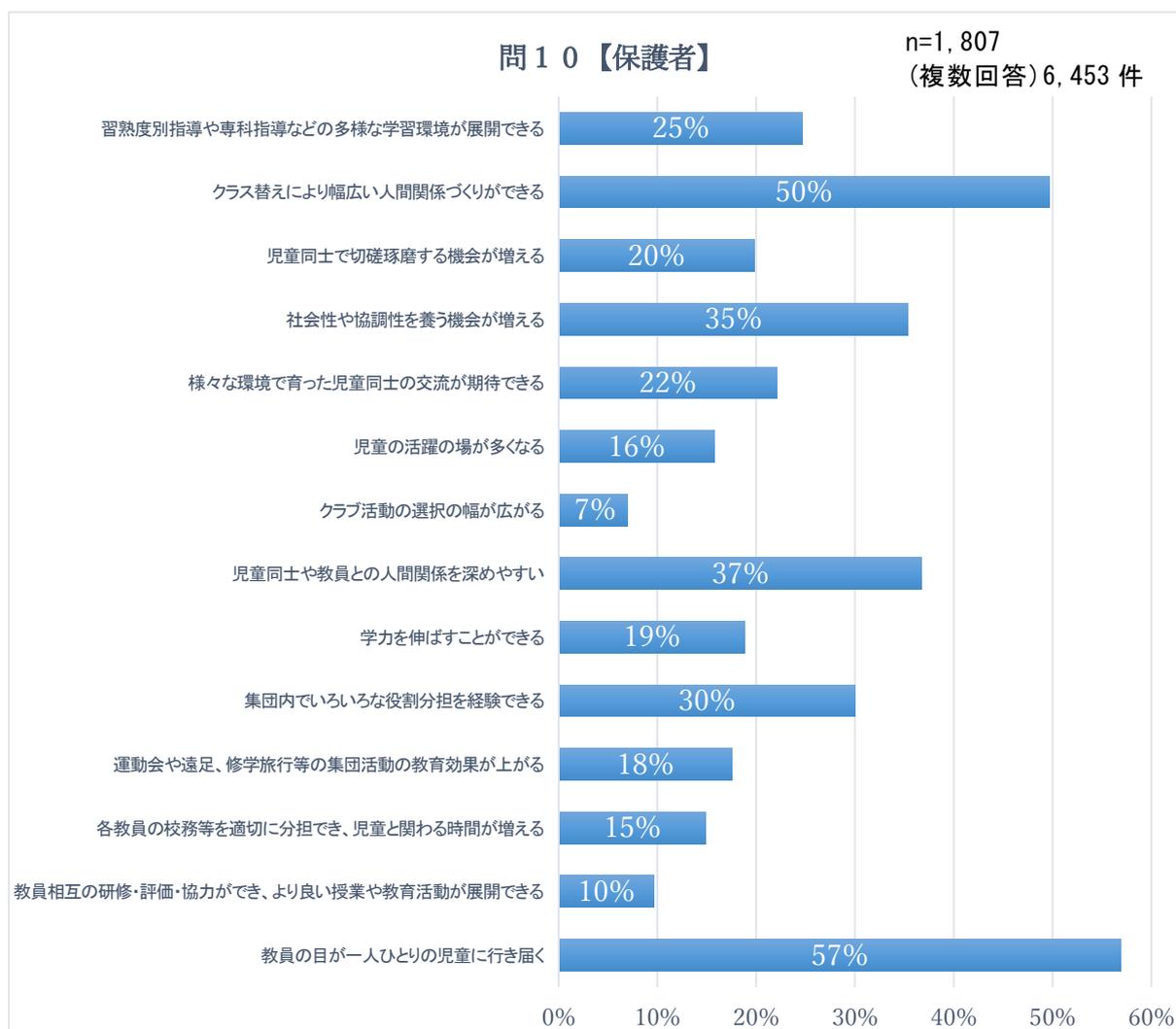


問10 問9のように考える理由について、あなたの考えにおいて重要度の高いものから、4つまで選んでください。

(1) 保護者

保護者の回答として、小学校での1学年における学級数を考える上で、「教員の目が一人ひとりの児童に行き届く」ことが最も多くの理由となった。これは、少人数の学級を編成することにより学級数が多くなることを想定していることなどへの期待が考えられる。

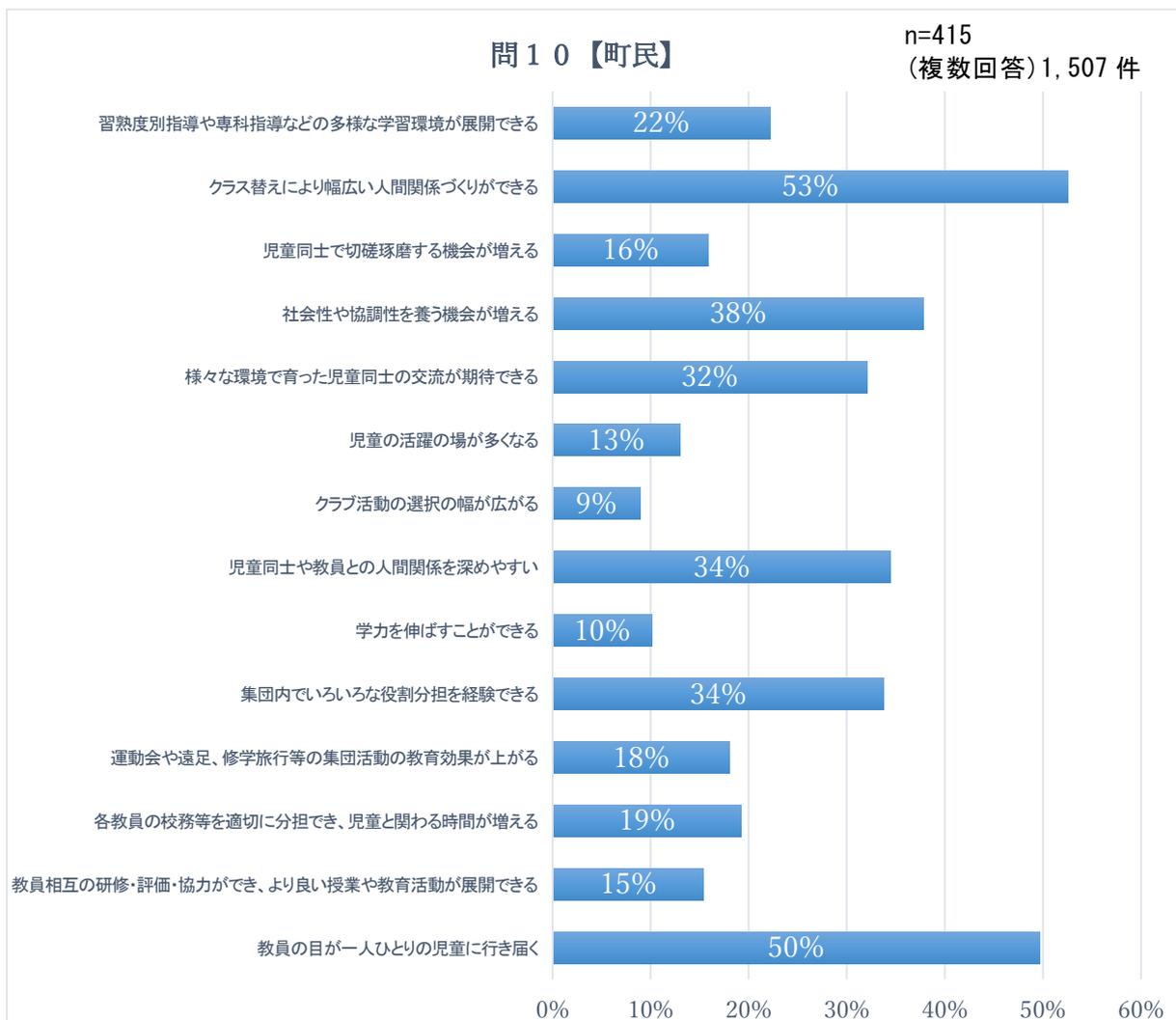
次いで、「クラス替えにより幅広い人間関係づくりができる」が2番目に回答が多く、「児童同士や教員との人間関係を深めやすい」「社会性や協調性を養う機会が増える」「集団内でいろいろな役割分担を経験できる」についても、3～4割台の回答を得ている。子どもたちがある程度の同世代の集団の中で多様な人間関係づくりや多様な経験ができることが重視されていることが分かる。



(2) 町民

町民の回答として、小学校での1学年における学級数を考える上で、「クラス替えにより幅広い人間関係づくりができる」ことが最も多くの理由となった。

次いで、「教員の目が一人ひとりの児童に行き届く」が2番目に回答が多く、「社会性や協調性を養う機会が増える」「児童同士や教員との人間関係を深めやすい」「集団内でいろいろな役割分担を経験できる」「様々な環境で育った児童同士の交流が期待できる」と続いている。保護者同様、子どもたちがある程度の同世代の集団の中で多様な人間関係づくりや多様な経験ができることが重視されていることが分かる。

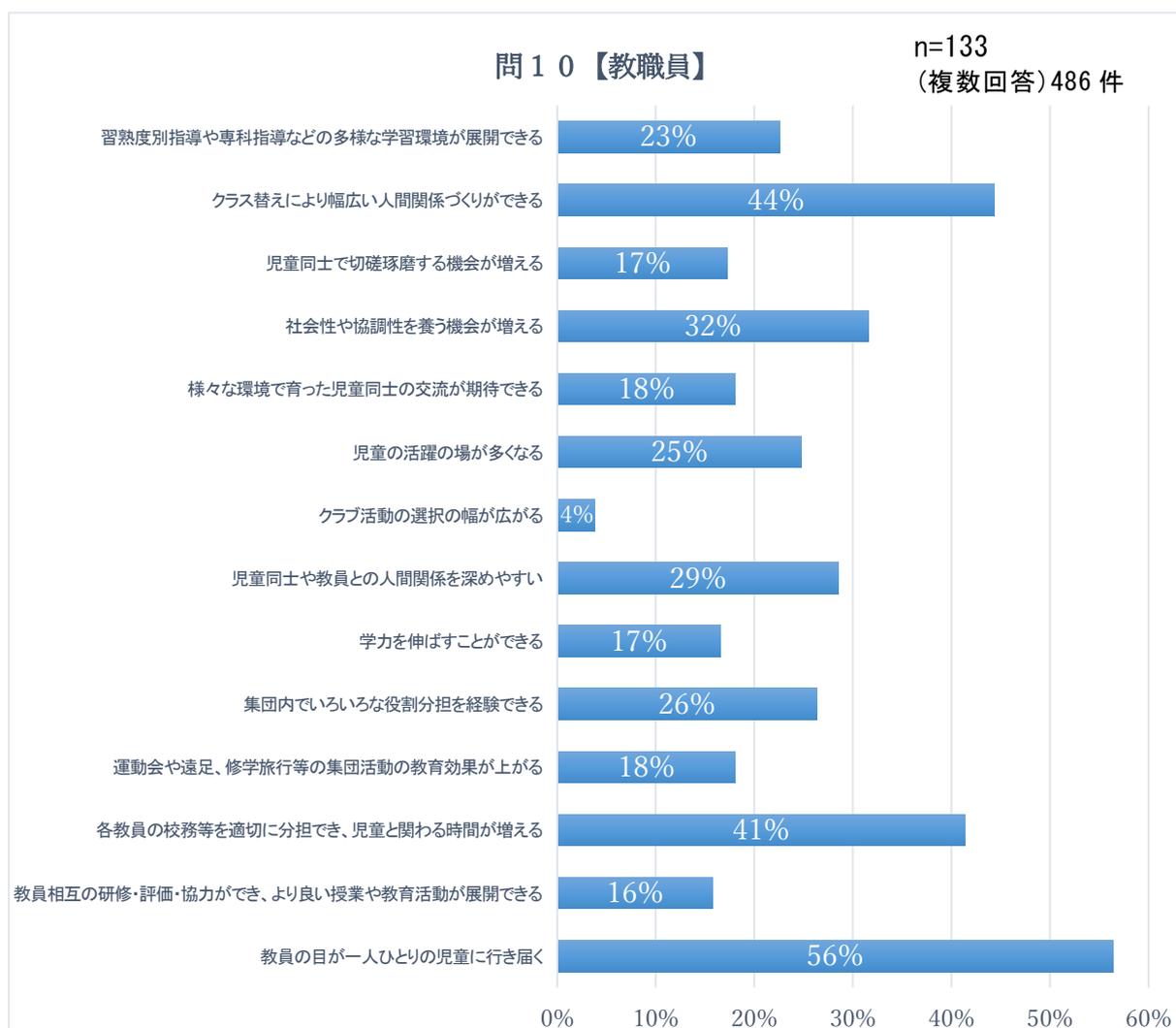


(3) 教職員

教職員の回答として、小学校での1学年における学級数を考える上で、保護者同様、「教員の目が一人ひとりの児童に行き届く」ことが最も多くの理由となった。

次いで、「クラス替えにより幅広い人間関係づくりができる」など、保護者や町民同様、子どもたちがある程度の同世代の集団の中で多様な人間関係づくりや多様な経験ができることが重視されていることが分かる。

加えて、教職員における特徴として、「各教員の校務等を適切に分担でき、児童と関わる時間が増える」という回答が3番目に多くなっている。学校規模が小さい場合は、教職員の配置数も少なくなる半面、規模に関係なく、必要な校務の数は変わらないため、各教職員が複数の校務分掌等を兼務しなければならず、学校運営上の教職員の負担は大きくなる傾向がある。学校運営上のことであることから、保護者や町民には回答の内容をイメージするのが難しかったことも考えられる。



問11 問 10 で選んだ以外に、他の理由があれば、以下にご記入ください。

属性別

※106／2,355 人の方より寄せられた回答から主なものを記載

【保護者】

- ・ 同じクラスにならないよう配慮が必要な生徒が複数いた場合を考えると、学級数は3以上がいいと思います。
- ・ 学力を伸ばすためには学習を楽しくし、学校を楽しくしなければならないと思います。子供でも大人でも1番自分の生活を豊かに、より楽しくするのは人間関係だと思えます。家族でもモラル、人間関係は相手の気持ちと教えていますが、集団でしか覚えられない、感じられない事が伝えやすい人数、学級数であればと思います。
- ・ (学級数を増やし1学級あたりの人数を減らして)感染症対策をしやすくするため。
- ・ 先生方の負担を減らして、充実した学校生活を送ってほしい。
- ・ 学級数より一クラスの人数を重視してほしい。
- ・ 教員の目が一人ひとりの児童に行き届くことにより「いじめ」の防止につながる。
- ・ 自分の子どもの担任だけではなく、他のクラスのベテラン教員などに相談できるから。

【町民】

- ・ 少人数で級数を増やすことで生徒一人ひとりに目を向けやすくなり、特にいじめ問題防止につながることを期待しています。
- ・ 席替え、クラス替えなどで友人が増えたり、もしイジメなどあったら環境変化に希望を持つ事もあったり。
- ・ 集団の中で自分の考えを持ち、発言できる能力の向上。
- ・ 教員の一人あたりの負担も減り、他の仕事(授業)に力をそそげる。
- ・ クラス数を増して、学校を減らした方が効率的だから。

【教職員】

- ・ 子どもの特性に応じたクラス分けのために、2学級では難しい。できれば3学級以上あることで、よりよいクラス経営ができると思う。
- ・ 支援を必要とする子どもたちや、一人ひとりの学習の理解に寄り添った指導ができる。
- ・ 教員数が少ないと業務上支障が多い。
- ・ 人間関係の固定化によるいじめを防止するため。

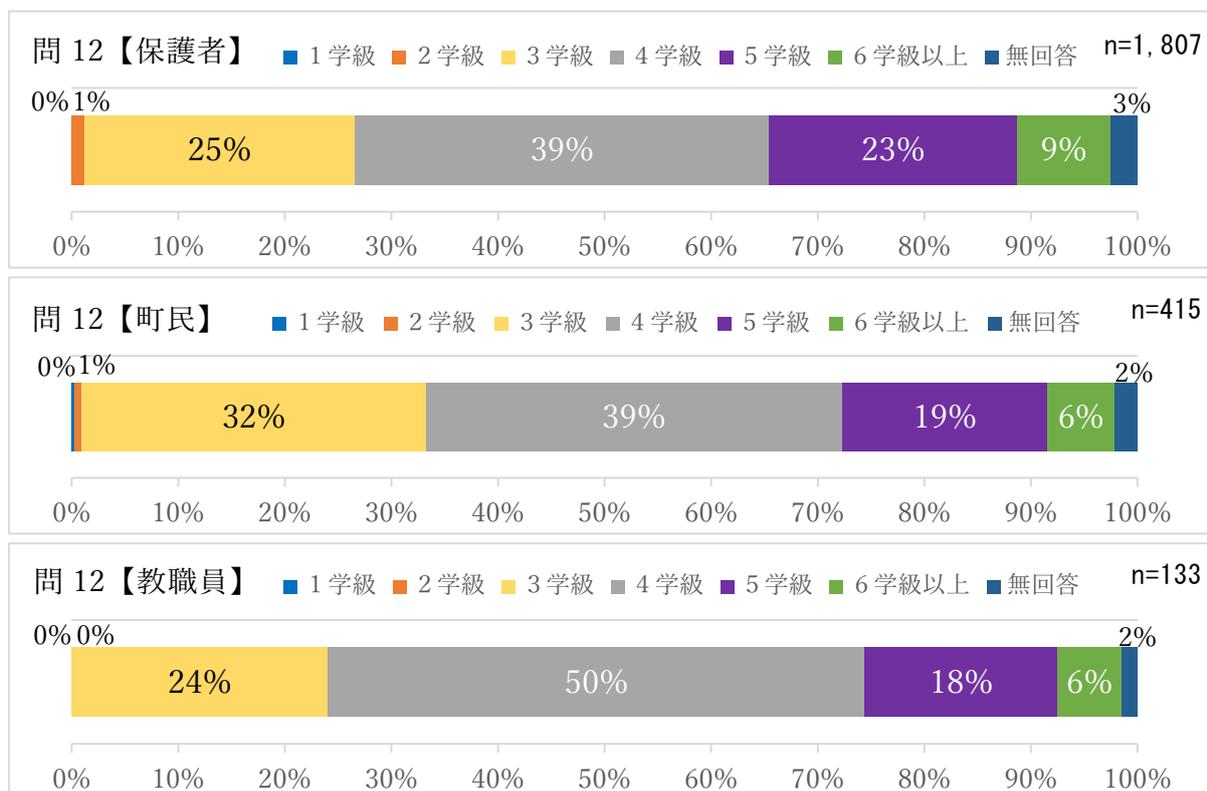
**問12 中学校の1学年あたりの学級数は、どの程度がよいと考えますか。
あなたの考えに近いものを1つ選んでください。**

保護者・町民・教職員

国の考えとして、中学校では、全学年でクラス替えを可能としたり、学級を超えた集団編成を可能としたり、同学年に複数教員を配置するためには、少なくとも1学年2学級以上（1校あたり6学級以上）が必要とされている。また、小規模校では、教員配置数も少なくなり、全ての教科の教員を配置することが困難になることから、当該教科の免許状を有しない教員が指導することを許可する制度による免許外指導が行われる傾向がある。そのため、全ての教科で免許状を有する教科担任による学習指導を行ったりするためには、少なくとも1校あたり9学級以上（1学年3学級以上）を確保することが望ましいものと考えられている。さらに、適正な学校規模として、小学校同様に12学級以上18学級以下、つまり1学年あたり平均4学級以上6学級以下という基準が示されているところである。

そのような中、全ての属性において、4学級が最も多い回答となっている。次いで、3学級、5学級、6学級となっており、1学級や2学級の回答はほとんどなかった。町民では、保護者、教職員と比べて、3学級の割合が少し高くなっている。また、教職員では、全体、保護者、町民と比べて、最も多い4学級の割合が顕著に高くなっている。教育現場により近い教職員の方が、学校運営上の観点から現実的にある一定程度以上の学校規模を望んでいることが推測される。学校の規模が小さいことについては、小学校同様、デメリットを感じていることが推測される。

現在、町内3中学校の1学年あたりの平均学級数は約3.9学級となっているが、今後1学年2学級という学校が出ることも予測されており、将来に向けての検討が必要である。



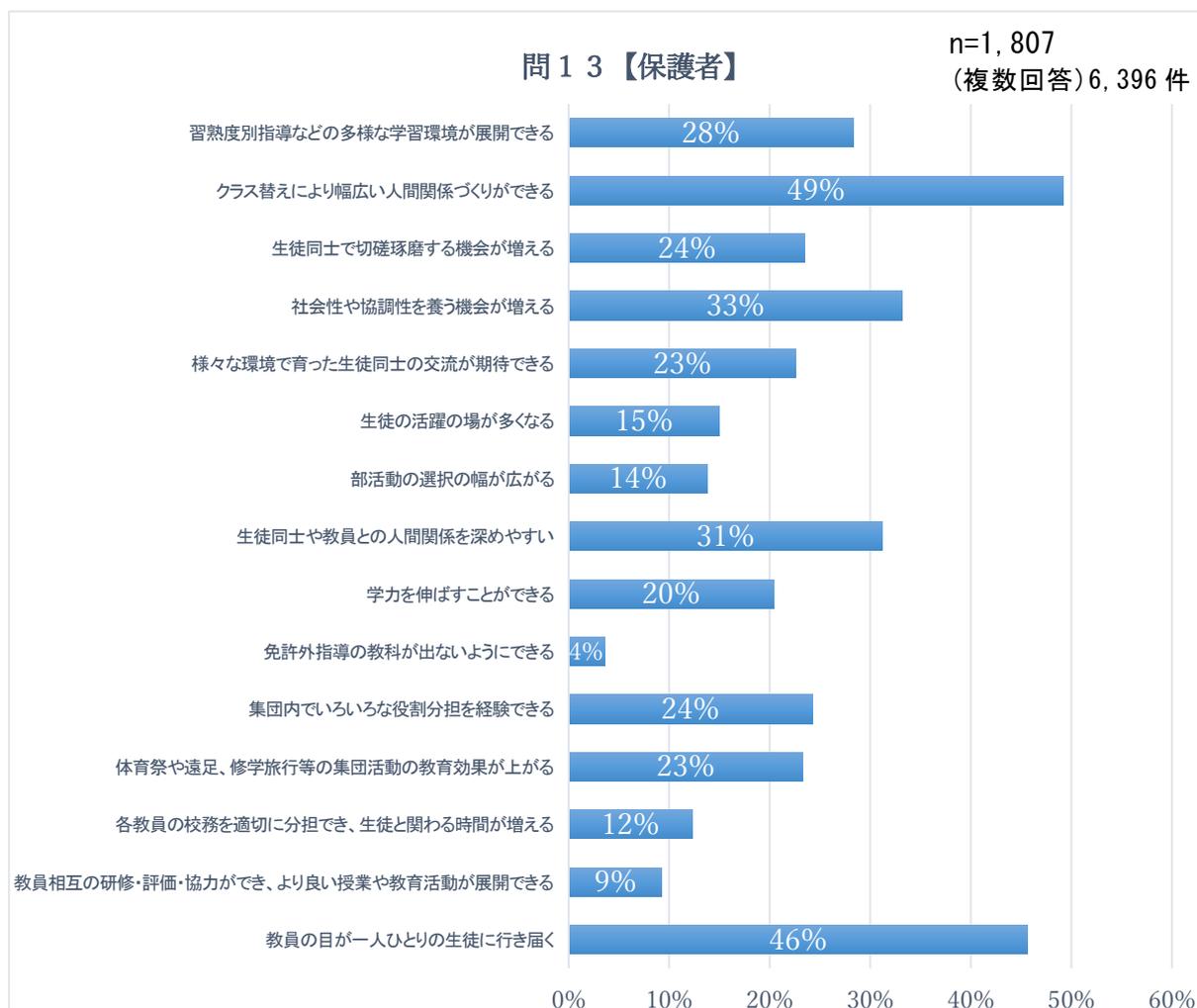
問13 問12のように考える理由について、あなたの考えにおいて重要度の高いものから、4つまで選んでください。

(1) 保護者

保護者の回答として、中学校での1学年における学級数を考える上で、小学校で2番目に多かった「クラス替えにより幅広い人間関係づくりができる」ことが最も多くの理由となった。これは、子どもたちが思春期を迎えるにあたって、多様な人間関係において様々な経験ができることなどへの期待と考えられる。

次いで、「教員の目が一人ひとりの児童に行き届く」「社会性や協調性を養う機会が増える」「生徒同士や教員との人間関係を深めやすい」「習熟度別指導などの多様な学習環境が展開できる」などの順で多い回答となっている。

中学校は義務教育の最終段階であり、子どもたちが卒業後に社会に出ていくことから、社会性や協調性といった点や、学校行事による集団活動の教育的効果について、小学校よりも重視されている傾向が見られる。さらに、学習環境に関する点についても、より重視されているが、進路選択が意識されているからではないかと考えられる。

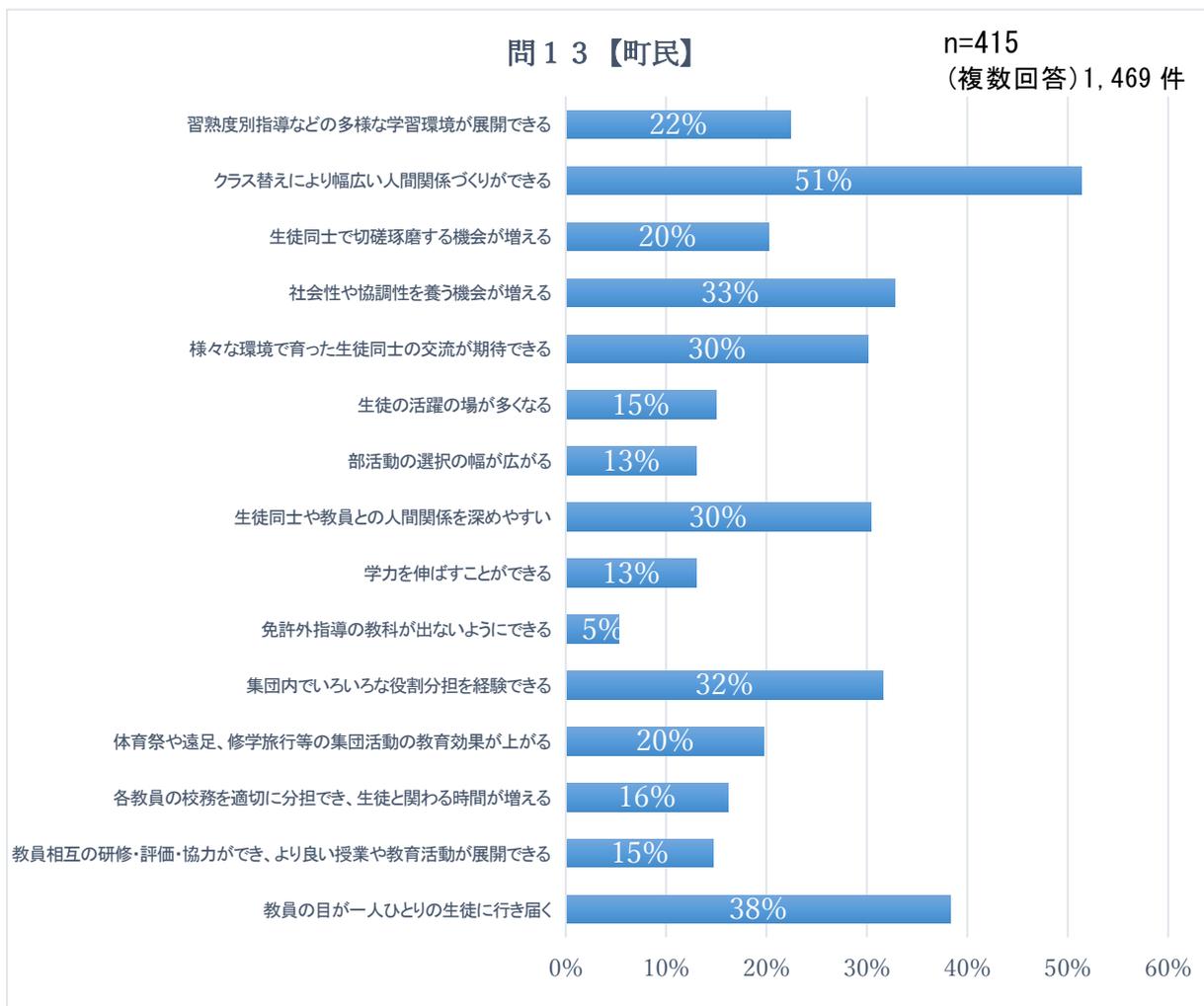


(2) 町民

町民の回答として、中学校での1学年における学級数を考える上で、保護者と同様、「クラス替えにより幅広い人間関係づくりができる」ことが最も多くの理由となった。これは、子どもたちが思春期を迎えるにあたって、多様な人間関係において様々な経験ができることなどへの期待と考えられる。

次いで、「教員の目が一人ひとりの児童に行き届く」「社会性や協調性を養う機会が増える」「集団内でいろいろな役割分担を経験できる」などの順で多い回答となっている。

保護者同様、義務教育最終段階として、社会性や協調性といった点や、学校行事による集団活動の教育的効果について重視されている傾向が見られる。

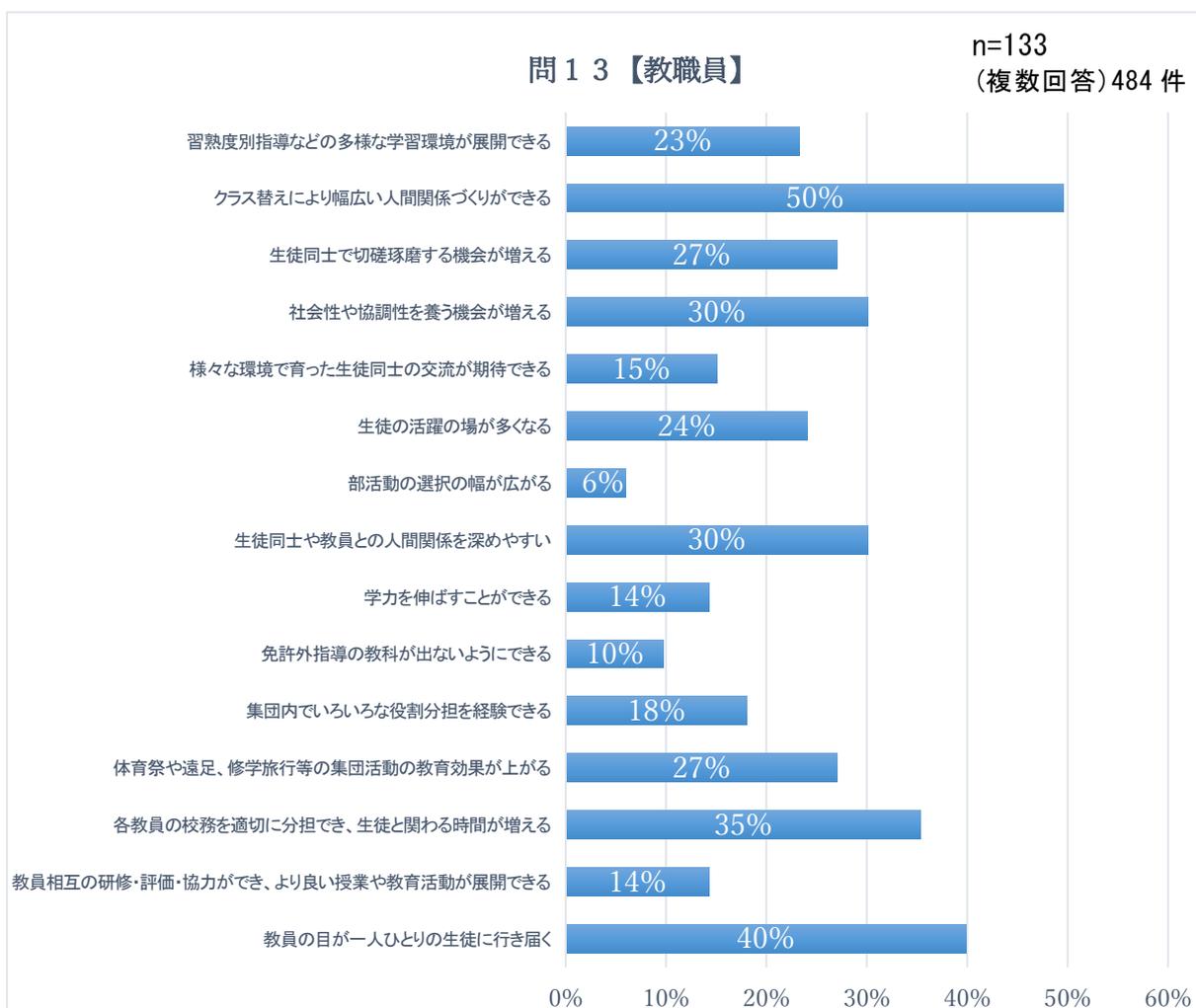


(3) 教職員

教職員の回答として、中学校での1学年における学級数を考える上で、保護者、町民同様、「クラス替えにより幅広い人間関係づくりができる」ことが最も多くの理由となった。これは、子どもたちが思春期を迎えるにあたって、多様な人間関係において様々な経験ができることなどへの期待と考えられる。

次いで、「教員の目が一人ひとりの児童に行き届く」の回答が多くなっているなど、保護者、町民と同様の傾向が現れている。

教職員では、保護者、町民と比べて、「各教員の校務を適切に分担でき、生徒と関わる時間が増える」が重視されていることが特徴的である。学校運営においては、学校全体の校務分掌はもちろん、学年運営上の業務を分担する必要がある。学年における学級数が少なければ、各教員が複数の業務を兼務しなければならなくなり、授業や生徒指導など、子どもに直接関わる時間に影響することが懸念されることを、実際に学校運営を担う立場として反映しているためではないかと考えられる。



問14 問13で選んだ以外に、他の理由があれば、以下にご記入ください。

属性別

※65/2,355人の方より寄せられた回答から主なものを記載

【保護者】

- ・ 中学では、子どもなりの地域による文化や考え方の違いに多くふれて、多様な考え方の波にもまれてほしい。
- ・ （1クラスあたりの人数が多いと）感染症発生の場合、対策が不十分になったり、感染リスクが高くなる。
- ・ 教員の方に余裕や休みが増えたらいいと思います。
- ・ 学級数より一クラスの人数を重視してほしい。年齢が上がっても手・目が必要な部分が変わるだけ。同じ人数なら少人数多クラスが良い。
- ・ いじめなどの発見のしやすさ。

【町民】

- ・ 小学校に比べ中学校の方が学習面、人間関係でつまづくことが多くなる。そのため、他の多くの教員の目がふえることで一人ひとりに行き届くことができる。
- ・ 担任による環境のちがいと学年としての社会性や協調性を養うほうが広がりがありそうと考えます。

【教職員】

- ・ $4\text{時間} \times 4\text{クラス} = 16\text{時間}$ $1\text{時間} \times 4\text{クラス} \times 3\text{学年} = 12\text{時間}$ 週 12～16時間程度の授業が適切だと思うから。5教科が各学年1人配置できる。
- ・ 「学年」という集団意識が持ちやすい規模。
- ・ 人間関係の固定化によるいじめ防止。
- ・ 教員数が少ないと業務上支障が多い。

5 学校の適正規模・配置の検討について

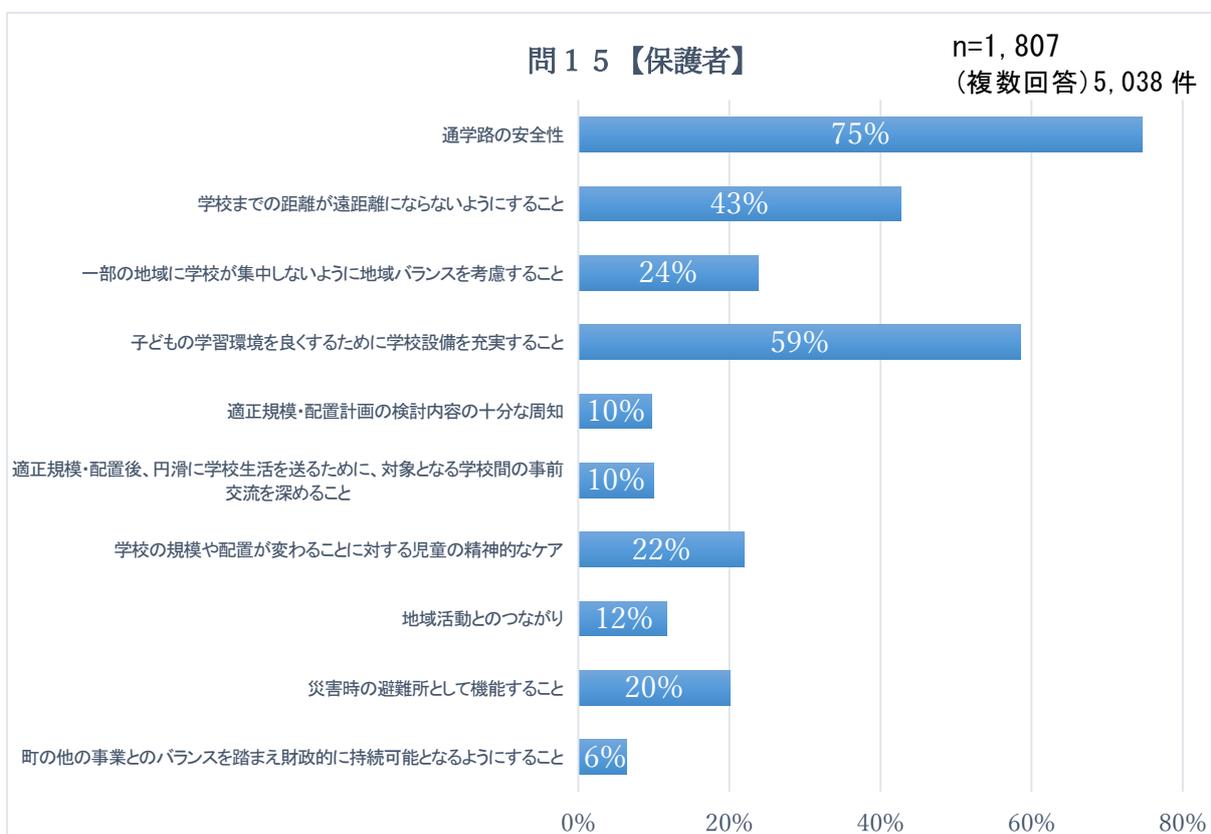
問15 今後、小学校の適正規模・配置を検討する場合、優先して配慮すべきことについて、どのように考えますか。
あなたの考えにおいて重要度の高いものから3つまで選んでください。

(1) 保護者

小学校における保護者の回答としては、「通学路の安全性」が最も多い回答となった。また併せて、「学校までの距離が遠距離にならないようにすること」が3番目に多い回答となった。小学校では、小学1年生から6年生という、幅広い年齢層で、発達段階で未熟な子どもが通学することから、交通安全上等の安全性がとくに重視されていることが分かる。

次いで、「子どもの学習環境を良くするために学校設備を充実すること」が2番目に多い回答となっている。町内の学校教育施設の多くは、今後、法定耐用年数を迎えていくことになり、建物の長寿命化工事や更新（建て替え）など、必要な措置を講じていかなければならない。また、情報教育に合わせた設備の充実、感染症に対応できる教室空間の広さなど、時代に合わせたハード面の対応を考えていくことも重要である。

その他、地域バランスを考慮した学校配置、学校適正化による児童への精神的ケア、災害時の避難所としての機能についても、多くの回答がある。

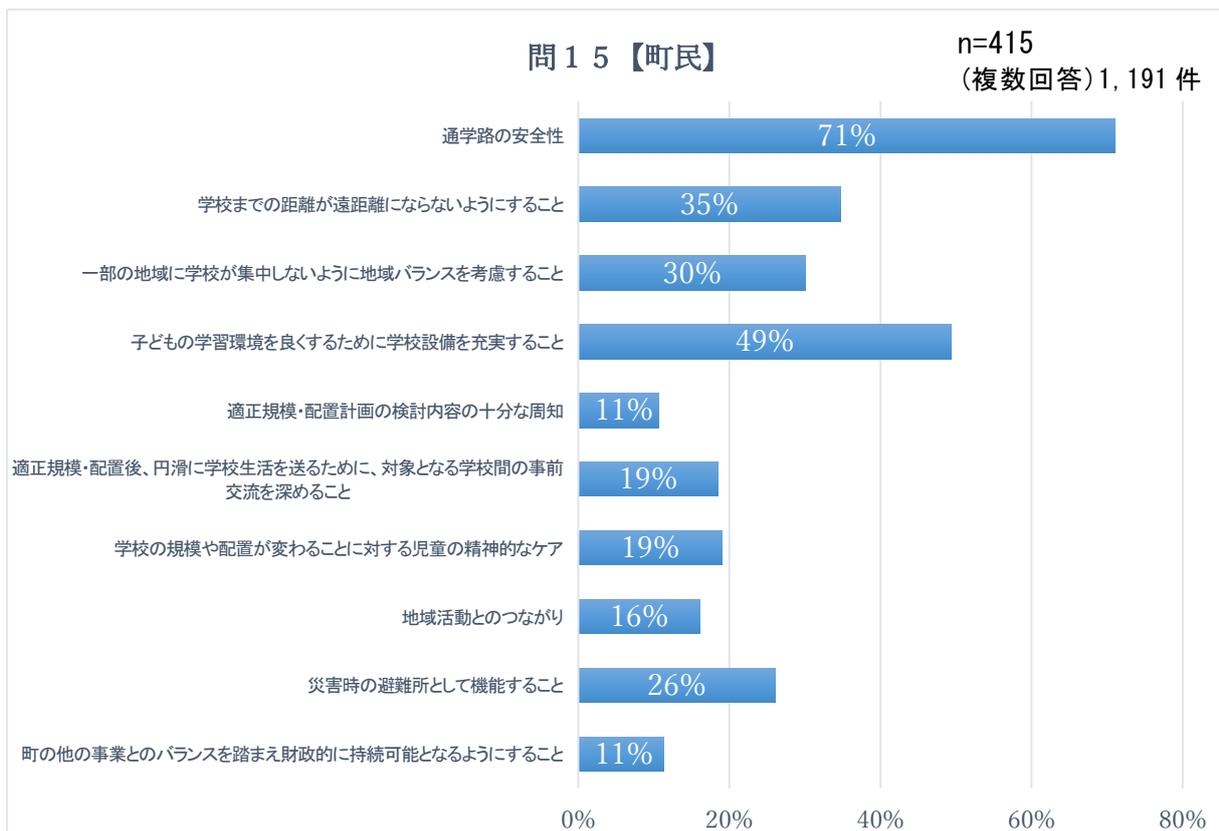


(2) 町民

小学校における町民の回答としては、保護者同様、「通学路の安全性」が最も多い回答となった。また併せて、「学校までの距離が遠距離にならないようにすること」が3番目に多い回答となった。

次いで、保護者同様、「子どもの学習環境を良くするために学校設備を充実すること」が2番目に多い回答となっている。その他、地域バランスを考慮した学校配置、学校適正化による児童への精神的ケア、災害時の避難所としての機能についても保護者と同様に多くなっているが、町民においてはより顕著になっている。

とくに、災害時の避難所としての機能については、住民にとっての生命の安全に関わることであり、近年、気候変動による風水害の影響が増えている現状を鑑みれば、各種ハザードマップなどを参考にしながら、学校適正化等について検討を進めることも必要である。

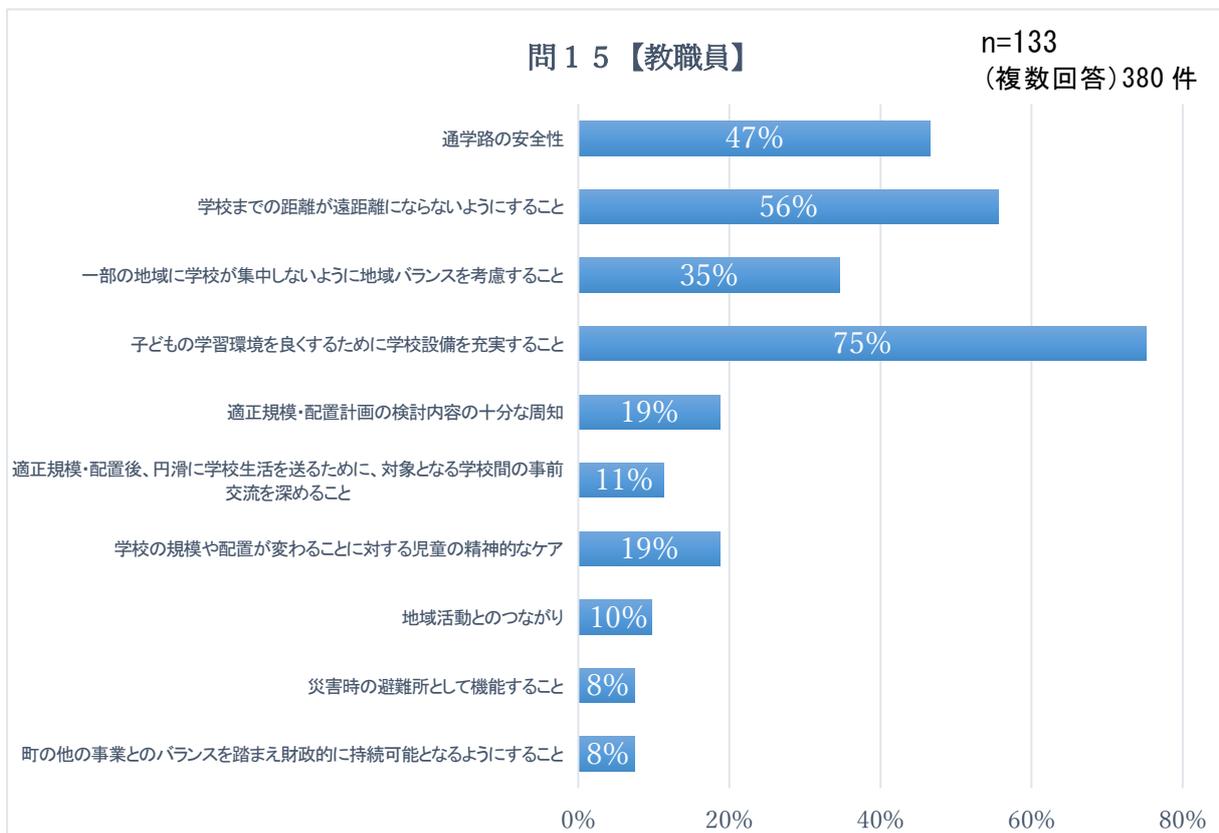


(3) 教職員

小学校における教職員の回答としては、「子どもの学習環境を良くするために学校設備を充実すること」が最も多い回答となっている。日常的に学校施設を利用している関係から、設備更新の必要性を具体的に実感していることが要因と考えられる。

次いで、保護者、町民と同様、「学校までの距離が遠距離にならないようにすること」「通学路の安全性」についても多い回答となっている。

また、保護者及び町民に比べて、「災害時の避難所として機能すること」の割合が少なく、「適正規模・配置計画の検討内容の十分な周知」の割合がやや多くなっていることが特徴的である。



問16 問15で選んだ以外に、他の理由があれば、以下にご記入ください。

属性別

※63/2,355人の方より寄せられた回答から主なものを記載

【保護者】

- ・ やりきれない事もあるとは思いますが、とにかく安全が1番。住宅地やスクールゾーンを好んで抜け道にするドライバーが多いです。避難先にもなるのでしょうから、安全を確保してほしいです。
- ・ 学校までの距離が遠距離になった際の通学バスの検討。
- ・ 学校の設備だけでなく、先生の「質」を重視していただきたい。
- ・ ハザードマップ的にも大丈夫な所。
- ・ 児童数や設備、先生の人員配置数等、学校毎に差が生じないようにしてほしい（平等に！）。

【町民】

- ・ 通学路の安全性で検討することと安全性を確保すること、共に必要。
- ・ 親の職場などを考慮し、学区にこだわらず、臨機応変に対応してほしい。
- ・ 災害時の避難場所として指定している割に、かなり老朽化しており、何年も通う学生やもしものときに機能するかどうか疑問です。
- ・ これからの情報化社会に対応するのにふさわしい場所として機能することを意識する。

【教職員】なし

**問17 今後、中学校の適正規模・配置を検討する場合、優先して配慮すべきことについて、どのように考えますか。
あなたの考えにおいて重要度の高いものから1つまで選んでください。**

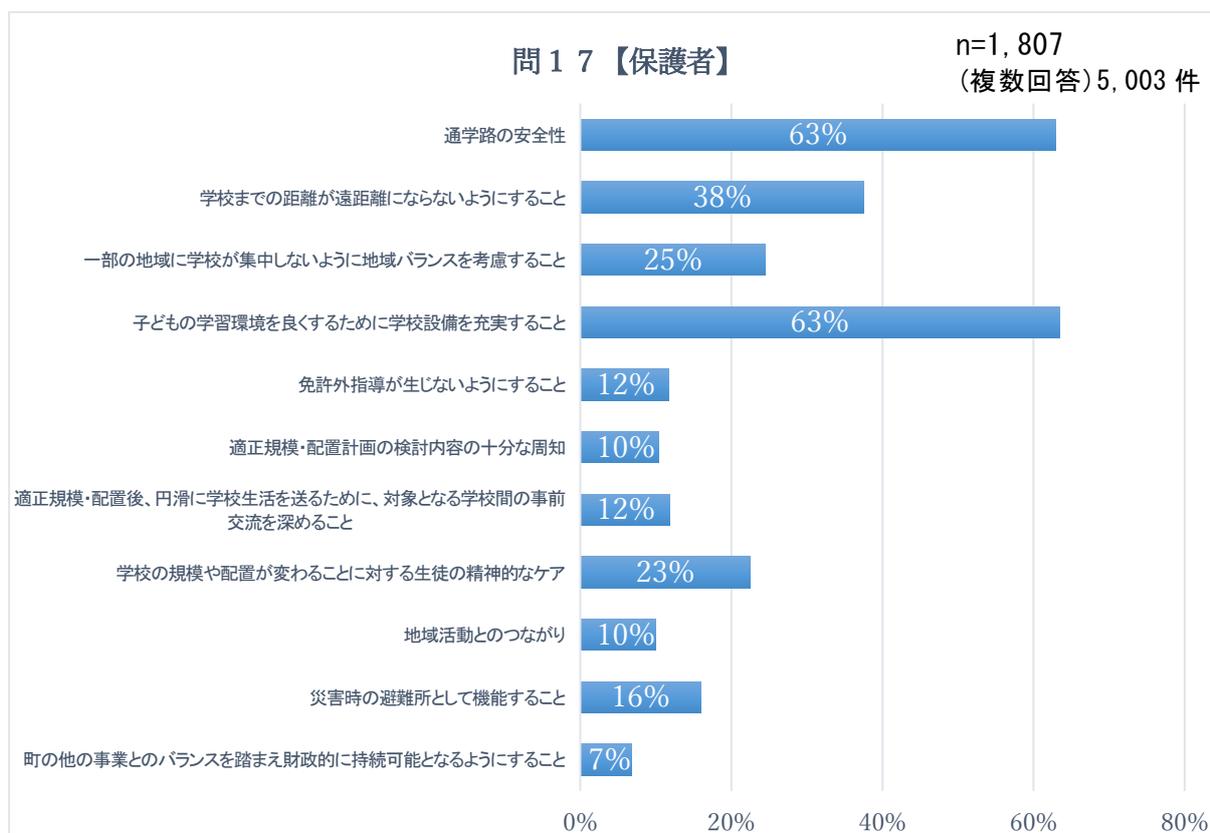
(1) 保護者

中学校における保護者の回答として、「子どもの学習環境を良くするために学校設備を充実すること」「通学路の安全性」が最も多い回答となっている。

小学校と異なり、より学校設備が重視されているが、町内の学校教育施設の多くが、今後、法定耐用年数を迎えていくことになり、必要な措置を講じるとともに、時代に応じたハード面の対応を考えていくことが必要である。

次いで、「学校までの距離が遠距離にならないようにすること」が3番目に多い回答となった。中学生となれば、その発達段階から小学生よりも通学において交通安全上の懸念は多少減るものの、防犯上の観点からも、子どもの安全性が依然として重視されていることが分かる。

その他、小学校同様、地域バランスを考慮した学校配置、学校適正化による児童への精神的ケア、災害時の避難所としての機能についても多くの回答がある。

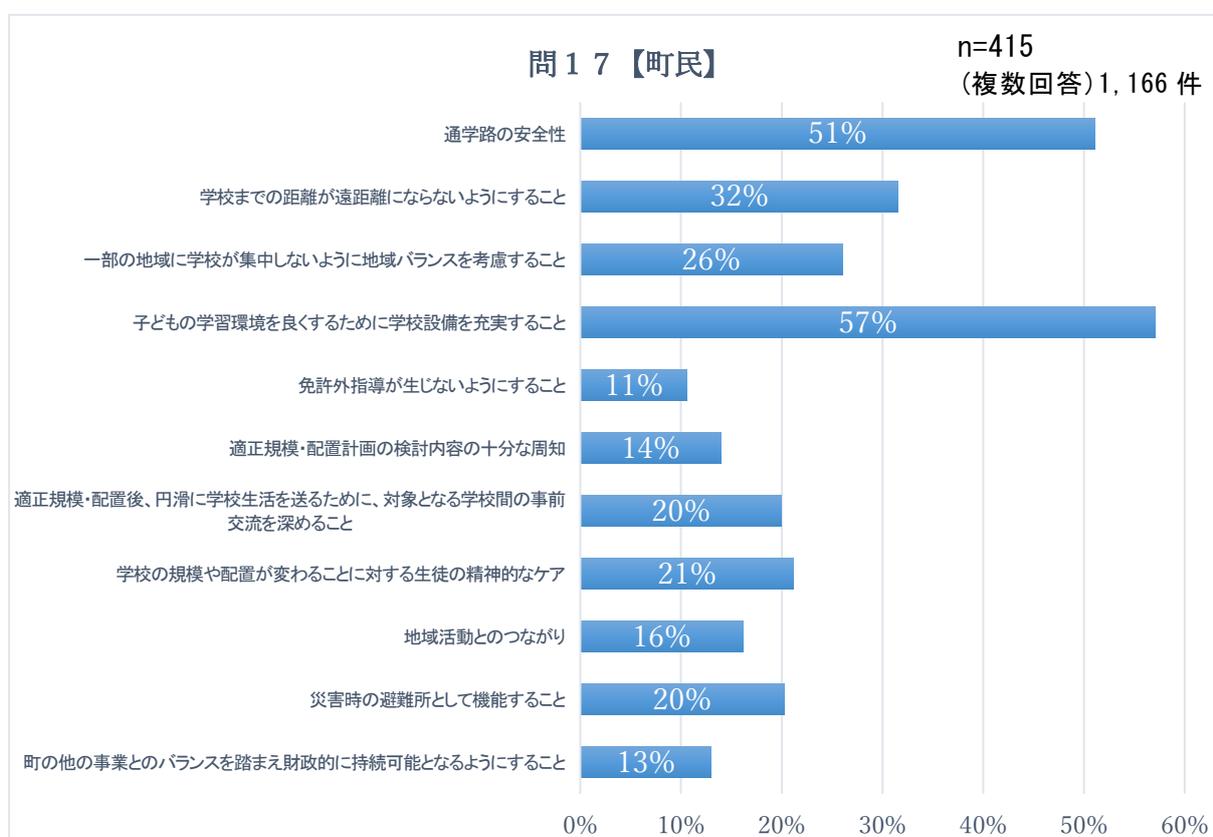


(2) 町民

中学校における町民の回答として、保護者同様、「子どもの学習環境を良くするために学校設備を充実すること」が最も多く、次いで「通学路の安全性」が多い回答となっている。その他、保護者と同様の傾向を示している。

町民においては、「適正規模・配置後、円滑に学校生活を送るために、対象となる学校間の交流を深めること」「地域活動とのつながり」の割合が多くなっていることが特徴的である。

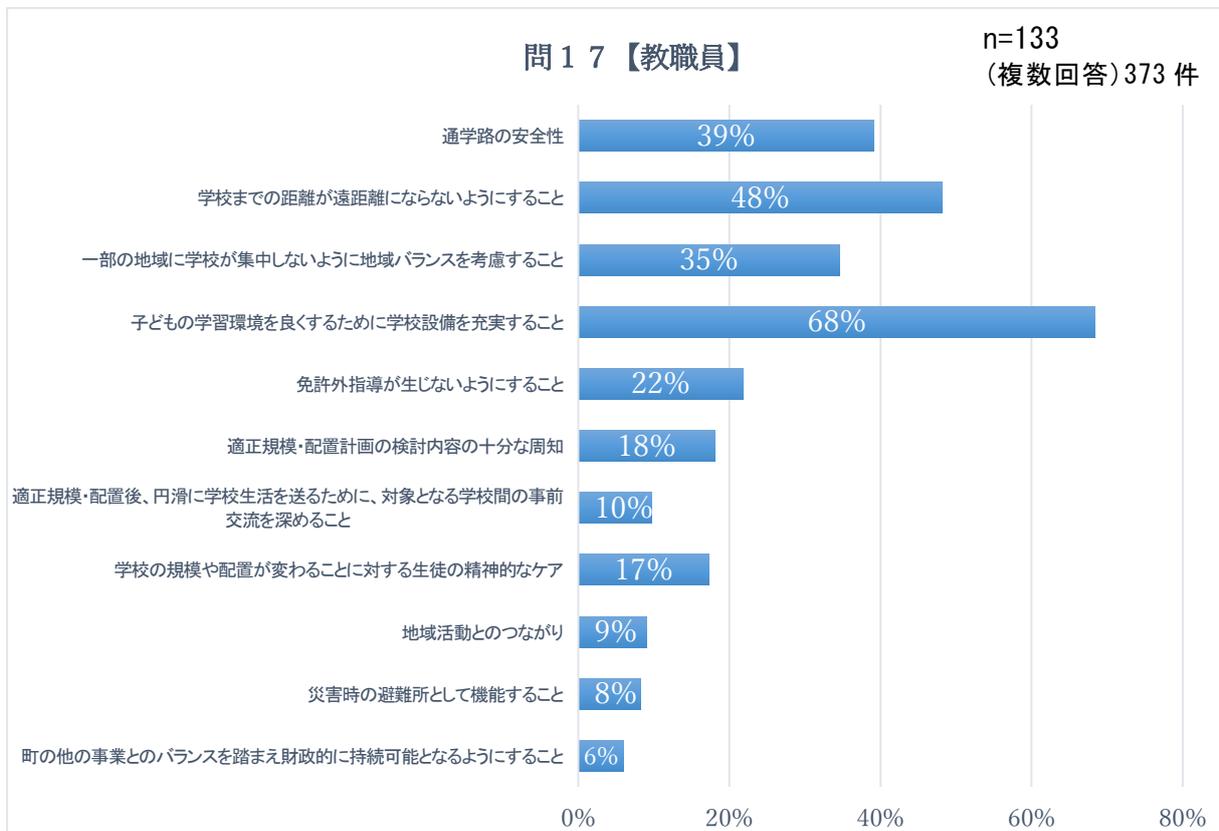
また、「災害時の避難所として機能すること」の割合がさらに多くなっている。



(3) 教職員

中学校における教職員の回答として、保護者同様、「子どもの学習環境を良くするために学校設備を充実すること」が最も多く、次いで「学校までの距離が遠距離にならないようにすること」「通学路の安全性」が多い回答となっている。その他、保護者と同様の傾向を示している。

その反面、教職員においては、保護者、町民と比べて、学校運営に関係する「免許外指導が生じないようにすること」「適正規模・配置計画の検討内容の十分な周知」の割合が多くなっていることが特徴的である。学校運営上の課題は、教職員だけでなく、教わる側の子どもたちにも影響を及ぼすことから、慎重に検討する必要がある。



問18 問17で選んだ以外に、他の理由があれば、以下にご記入ください。

属性別

※77/2,355人の方より寄せられた回答から主なものを記載

【保護者】

- ・ 中学校の部活動数が少ないと思います。選択があまりできない。部活動の顧問をその部活に詳しい先生に任せてほしいと思います。
- ・ 学校ごとに学ぶ内容や方法が大きく変わることをないようにする。
- ・ 遠い通学になる場合の自転車通学の許可。
- ・ 教員の資質向上。
- ・ 遠距離であっても、バス利用（公共バス、スクールバス）などで通学が安全になればよいと思う。
- ・ 安全性が確保されていて、ある程度人の目が多い所（誘拐などがおこらない場所）
- ・ 一つの小学校からの出身生徒が8割以上とか、バランス悪いのは子どもがかわいそう。
（少ない方も多い方も）中学は色々な学校からの新しい出会いの場になって、そこでもまれて強い社会性を身につけてほしい。
- ・ 洪水・津波時の避難に対応できる高台付近への配置。
- ・ 不登校の生徒に対しての対応をもう少し手厚くしてほしい。

【町民】

- ・ これからの情報化社会に対応するのにふさわしい場所として機能することを意識する。
- ・ 「学区によって行ける学校」という縛りをなくし、子どもが行きたい中学を町内の中で選択するシステムがあってもよいかと思う（6km以内、1時間以内なら）。
- ・ 学校の統廃合によって学区が変わり、通学距離が延びた場合、スクールバスの導入が考えられると思います。
- ・ 他市町村では、ヘルメット自転車通学のところもあるが、寒川町では歩道や自転車道が整備されておらず、たとえ近くても通学が危険であり、まずは道路整備が必要。

【教職員】

- ・ 生徒が行いたい部活動が存在していること。

III 參考資料

設問	選択肢	全体	保護者	町民	教職員	
問1 あなたの年齢をお答えください。	10歳代	17	7	10	0	
	20歳代	94	30	29	35	
	30歳代	669	593	43	33	
	40歳代	1,106	1,034	45	27	
	50歳代	206	124	55	27	
	60歳代	115	5	100	10	
	70歳以上	132	2	130	0	
	無回答	16	12	3	1	
	合計	2,355	1,807	415	133	
問2 あなたの世帯の18歳以下の方の就学等の状況について、該当するものをすべてお答えください[複数回答可]。	いない	382	0	306	76	
	就学前の乳幼児	567	493	54	20	
	小学生	1,463	1,441	8	14	
	中学生	753	739	5	9	
	高校生	361	328	25	8	
	その他	32	19	7	6	
	合計	3,558	3,020	405	133	
問3 あなたがお住まいの小学校区はどちらですか。特別な事情により学区外に通学されている場合は、現在通学している小学校をお答えください。教職員の方の場合は、勤務する学校をお答えください。	寒川小	512	396	100	16	
	一之宮小	318	225	80	13	
	旭小	521	428	83	10	
	小谷小	350	281	58	11	
	南小	522	423	82	17	
	旭小又は小谷小	35	26	9	0	
	中学校勤務	66	0	-	66	
	無回答	31	28	3	0	
	合計	2,355	1,807	415	133	
問4 あなたがお住まいの中学校区はどちらですか。特別な事情により学区外に通学されている場合は、現在通学している中学校をお答えください。教職員の方の場合は、勤務する学校をお答えください。	寒川中	511	376	121	14	
	旭が丘中	949	765	156	28	
	寒川東中	732	574	134	24	
	小学校勤務	67	0	-	67	
	無回答	96	92	4	0	
	合計	2,355	1,807	415	133	
問5 期待する子どもの将来の姿はどのようなものですか。次の①～⑭の項目について、あなたの考えに近いものを1つずつ選んでください。	社会規範を身に付け、物事の善悪が判断できる	ぜひそうなってほしい	2,013	1,559	334	120
		できればそうなってほしい	308	221	74	13
		あまりそうならなくてもよい	10	6	4	0
		そうならなくてもよい	3	3	0	0
		無回答	21	18	3	0
		合計	2,355	1,807	415	133
	周囲の人と協力し合いながら物事を進めることができる	ぜひそうなってほしい	1,704	1,343	251	110
		できればそうなってほしい	610	436	151	23
		あまりそうならなくてもよい	21	10	11	0
		そうならなくてもよい	2	2	0	0
		無回答	18	16	2	0
		合計	2,355	1,807	415	133

設問	選択肢	全体	保護者	町民	教職員	
問5 期待する子どもの将来の姿はどのようなものですか。次の①～⑭の項目について、あなたの考えに近いものを1つずつ選んでください。	礼儀正しく、相手を思いやることができる	ぜひそうなってほしい	1,959	1,550	296	113
		できればそうなってほしい	364	234	110	20
		あまりそうならなくてもよい	10	4	6	0
		そうならなくてもよい	1	1	0	0
		無回答	21	18	3	0
		合計	2,355	1,807	415	133
	自分で考え、判断し、行動することができる	ぜひそうなってほしい	1,874	1,488	277	109
		できればそうなってほしい	449	296	129	24
		あまりそうならなくてもよい	13	7	6	0
		そうならなくてもよい	3	2	1	0
		無回答	16	14	2	0
		合計	2,355	1,807	415	133
	自分のことに責任をもって行動することができる	ぜひそうなってほしい	1,899	1,486	299	114
		できればそうなってほしい	428	300	109	19
		あまりそうならなくてもよい	9	5	4	0
		そうならなくてもよい	2	2	0	0
		無回答	18	15	3	0
		合計	2,356	1,808	415	133
	困難に負けず、粘り強く物事に取り組むことができる	ぜひそうなってほしい	1,405	1,119	195	91
		できればそうなってほしい	885	648	195	42
		あまりそうならなくてもよい	47	26	21	0
		そうならなくてもよい	4	2	2	0
		無回答	17	15	2	0
		合計	2,358	1,810	415	133
	社会や周囲の人の役に立つことができる	ぜひそうなってほしい	1,083	855	150	78
		できればそうなってほしい	1,132	864	216	52
		あまりそうならなくてもよい	111	66	42	3
		そうならなくてもよい	7	4	3	0
		無回答	23	19	4	0
		合計	2,356	1,808	415	133
	自分のもつ知識や技術で、経済的に自立した生活ができる	ぜひそうなってほしい	1,322	1,096	150	76
		できればそうなってほしい	926	654	216	56
		あまりそうならなくてもよい	78	36	42	0
		そうならなくてもよい	9	6	3	0
		無回答	20	15	4	1
		合計	2,355	1,807	415	133
	個性を発揮し、自分の夢を実現できる	ぜひそうなってほしい	1,138	874	194	70
		できればそうなってほしい	1,112	855	200	57
		あまりそうならなくてもよい	83	61	16	6
		そうならなくてもよい	5	2	3	0
		無回答	18	16	2	0
		合計	2,356	1,808	415	133
自分で新しい道を切り拓いていくことができる	ぜひそうなってほしい	1,004	807	131	66	
	できればそうなってほしい	1,138	848	230	60	
	あまりそうならなくてもよい	179	126	46	7	
	そうならなくてもよい	13	7	6	0	
	無回答	21	19	2	0	
	合計	2,355	1,807	415	133	

設問	選択肢	全体	保護者	町民	教職員	
問5 期待する子どもの将来の姿はどのようなものですか。次の①～⑭の項目について、あなたの考えに近いものを1つずつ選んでください。	心身共に健康に生活できる	ぜひそうなってほしい	2,029	1,593	326	110
		できればそうなってほしい	297	190	85	22
		あまりそうならなくてもよい	6	4	1	1
		そうならなくてもよい	0	0	0	0
		無回答	25	22	3	0
		合計	2,357	1,809	415	133
	リーダーシップを発揮し、集団をまとめ、引っ張っていくことができる	ぜひそうなってほしい	473	375	59	39
		できればそうなってほしい	1,209	912	226	71
		あまりそうならなくてもよい	580	456	105	19
		そうならなくてもよい	75	50	21	4
		無回答	19	15	4	0
		合計	2,356	1,808	415	133
	異なる文化や言語をもつ外国の人たちとコミュニケーションを図ることができる	ぜひそうなってほしい	810	648	115	47
		できればそうなってほしい	1,296	971	248	77
		あまりそうならなくてもよい	199	149	41	9
		そうならなくてもよい	33	24	9	0
		無回答	17	15	2	0
		合計	2,355	1,807	415	133
	情報モラルを含み、コンピュータ等の情報手段を適切に活用することができる	ぜひそうなってほしい	984	782	144	58
できればそうなってほしい		1,192	890	230	72	
あまりそうならなくてもよい		144	107	34	3	
そうならなくてもよい		17	13	4	0	
無回答		18	15	3	0	
合計		2,355	1,807	415	133	
問6 小・中学校において、次の①～⑱の項目について、どの程度力を入れて取り組んでほしいですか。あなたの考えに近いものを1つずつ選んでください。	基礎的な学力を確実に身につける授業等の実施	ぜひ取り組んでほしい	1,928	1,493	324	111
		できれば取り組んでほしい	392	286	84	22
		あまり取り組まなくてもよい	11	9	2	0
		取り組まなくてもよい	5	3	2	0
		無回答	19	16	3	0
		合計	2,355	1,807	415	133
	習熟度別指導法など、学習到達度に応じた授業等の実施	ぜひ取り組んでほしい	1,025	843	132	50
		できれば取り組んでほしい	1,114	814	234	66
		あまり取り組まなくてもよい	169	117	40	12
		取り組まなくてもよい	18	11	4	3
		無回答	30	23	5	2
		合計	2,356	1,808	415	133
	少人数学級などによる、個に応じたきめ細かな指導の実施	ぜひ取り組んでほしい	1,089	849	156	84
		できれば取り組んでほしい	1,017	767	205	45
		あまり取り組まなくてもよい	199	155	42	2
		取り組まなくてもよい	16	10	5	1
		無回答	34	26	7	1
		合計	2,355	1,807	415	133
	小学校高学年における教科担任制による専門性の高い授業の実施	ぜひ取り組んでほしい	814	644	122	48
できれば取り組んでほしい		1,082	825	192	65	
あまり取り組まなくてもよい		398	289	90	19	
取り組まなくてもよい		30	23	6	1	
無回答		31	26	5	0	
合計		2,355	1,807	415	133	

設問	選択肢	全体	保護者	町民	教職員	
問6 小・中学校において、次の①～⑱の項目について、どの程度力を入れて取り組んでほしいですか。あなたの考えに近いものを1つずつ選んでください。	自ら学び自ら考える力を身につけられるよう児童生徒主体の活動を充実すること	ぜひ取り組んでほしい	1,155	884	188	83
		できれば取り組んでほしい	1,065	821	196	48
		あまり取り組まなくてもよい	111	83	26	2
		取り組まなくてもよい	5	3	1	1
		無回答	20	16	4	0
		合計	2,356	1,807	415	134
	将来に夢や希望がもてるように職業体験などの社会体験活動を充実すること	ぜひ取り組んでほしい	1,212	963	188	61
		できれば取り組んでほしい	999	758	177	64
		あまり取り組まなくてもよい	113	64	45	4
		取り組まなくてもよい	9	5	1	3
		無回答	22	17	4	1
		合計	2,355	1,807	415	133
	学習習慣を身につけられるようにより一層計画的に宿題を課すなどすること	ぜひ取り組んでほしい	675	583	56	36
		できれば取り組んでほしい	1,087	853	167	67
		あまり取り組まなくてもよい	500	310	162	28
		取り組まなくてもよい	65	41	23	1
		無回答	28	20	7	1
		合計	2,355	1,807	415	133
	全ての児童生徒にとってより分かりやすく安心して受けられる授業等を実践すること(ユニバーサル・デザイン化)	ぜひ取り組んでほしい	1,108	860	170	78
		できれば取り組んでほしい	1,080	822	208	50
		あまり取り組まなくてもよい	137	102	31	4
		取り組まなくてもよい	10	8	2	0
		無回答	21	16	4	1
		合計	2,356	1,808	415	133
	健康の保持増進と体力の向上のために、体育、食育などの充実を図ること	ぜひ取り組んでほしい	1,162	900	208	54
		できれば取り組んでほしい	1,057	808	177	72
		あまり取り組まなくてもよい	103	74	25	4
		取り組まなくてもよい	7	5	0	2
無回答		26	20	5	1	
合計		2,355	1,807	415	133	
部活動・クラブ活動を通じて、学級や学年の枠を超えて切磋琢磨することによって、芸術文化への親しみ、体力向上、人間関係の構築などを図ること	ぜひ取り組んでほしい	1,066	853	162	51	
	できれば取り組んでほしい	1,096	825	203	68	
	あまり取り組まなくてもよい	158	103	43	12	
	取り組まなくてもよい	13	9	3	1	
	無回答	22	17	4	1	
	合計	2,355	1,807	415	133	
「特別の教科 道徳」を要として、学校の教育活動全体を通じて、道徳教育の充実を図ること	ぜひ取り組んでほしい	874	678	153	43	
	できれば取り組んでほしい	1,247	967	206	74	
	あまり取り組まなくてもよい	179	120	47	12	
	取り組まなくてもよい	30	22	5	3	
	無回答	25	20	4	1	
	合計	2,355	1,807	415	133	
協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育成するために、学校行事の充実を図ること	ぜひ取り組んでほしい	976	770	139	67	
	できれば取り組んでほしい	1,167	888	221	58	
	あまり取り組まなくてもよい	171	115	49	7	
	取り組まなくてもよい	18	15	2	1	
	無回答	24	20	4	0	
	合計	2,356	1,808	415	133	

設問	選択肢	全体	保護者	町民	教職員	
問6 小・中学校において、次の①～⑱の項目について、どの程度力を入れて取り組んでほしいですか。あなたの考えに近いものを1つずつ選んでください。	郷土の歴史などを学び、ふるさとに愛着をもてるようにすること	ぜひ取り組んでほしい	527	398	93	36
		できれば取り組んでほしい	1,331	1,010	241	80
		あまり取り組まなくてもよい	432	349	68	15
		取り組まなくてもよい	43	33	9	1
		無回答	24	19	4	1
		合計	2,357	1,809	415	133
	情報活用能力の育成を図り、情報化社会に対応できるようICT機器を活用した授業等を推進すること	ぜひ取り組んでほしい	1,017	796	168	53
		できれば取り組んでほしい	1,135	871	192	72
		あまり取り組まなくてもよい	164	111	46	7
		取り組まなくてもよい	11	6	4	1
		無回答	28	23	5	0
		合計	2,355	1,807	415	133
	外国語によるコミュニケーション能力の育成や多様性の理解を図れるよう外国語教育を充実すること	ぜひ取り組んでほしい	1,256	1,011	196	49
		できれば取り組んでほしい	962	709	180	73
		あまり取り組まなくてもよい	104	62	31	11
		取り組まなくてもよい	11	7	4	0
		無回答	22	18	4	0
		合計	2,355	1,807	415	133
	いじめの積極的な認知と情報共有などに努め、いじめのない集団づくりや人権教育を推進すること	ぜひ取り組んでほしい	1,893	1,466	329	98
		できれば取り組んでほしい	420	310	77	33
		あまり取り組まなくてもよい	17	11	4	2
		取り組まなくてもよい	5	2	3	0
		無回答	20	18	2	0
		合計	2,355	1,807	415	133
	義務教育9年間を見通した教育活動ができるよう小学校と中学校の連携をさらに推進すること	ぜひ取り組んでほしい	1,279	1,015	187	77
		できれば取り組んでほしい	902	664	187	51
		あまり取り組まなくてもよい	134	94	35	5
取り組まなくてもよい		16	13	3	0	
無回答		25	21	3	1	
合計		2,356	1,807	415	134	
学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)など、地域と学校の連携・協働を図りながら地域の教育力を学校教育に生かすこと	ぜひ取り組んでほしい	742	599	105	38	
	できれば取り組んでほしい	1,233	923	233	77	
	あまり取り組まなくてもよい	313	234	66	13	
	取り組まなくてもよい	35	28	6	1	
	無回答	32	23	5	4	
	合計	2,355	1,807	415	133	
教育活動の充実に向けて、教材、設備等の教育環境の十分な整備を図ること	ぜひ取り組んでほしい	1,284	993	188	103	
	できれば取り組んでほしい	972	737	206	29	
	あまり取り組まなくてもよい	71	54	17	0	
	取り組まなくてもよい	5	4	1	0	
	無回答	23	19	3	1	
	合計	2,355	1,807	415	133	
問7 小学校の1学級あたりの児童数について、どの程度がよいと考えますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。	40人	23	14	8	1	
	35人	208	150	53	5	
	30人	1,219	963	215	41	
	25人	704	542	107	55	
	20人以下	166	108	27	31	
	無回答	36	31	5	0	
	合計	2,356	1,808	415	133	

設問	選択肢	全体	保護者	町民	教職員	
問8 中学校の1学級あたりの生徒数について、どの程度がよいと考えますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。	40人	74	57	17	0	
	35人	564	441	107	16	
	30人	1,217	927	217	73	
	25人	365	286	52	27	
	20人以下	107	71	20	16	
	無回答	28	25	2	1	
	合計	2,355	1,807	415	133	
問9 小学校の1学年あたりの学級数は、どの程度がよいと考えますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。	1学級	2	1	0	1	
	2学級	134	89	43	2	
	3学級	1,623	1,239	280	104	
	4学級以上	568	454	88	26	
	無回答	28	24	4	0	
	合計	2,355	1,807	415	133	
問10 問9のように考える理由について、あなたの考えにおいて重要度の高いものから、4つまで選んでください。	習熟度別指導や専科指導などの多様な学習環境が展開できる	選択	566	444	92	30
		未選択	1,780	1,354	323	103
		合計	2,346	1,798	415	133
	クラス替えにより幅広い人間関係づくりができる	選択	1,170	893	218	59
		未選択	1,176	905	197	74
		合計	2,346	1,798	415	133
	児童同士で切磋琢磨する機会が増える	選択	445	356	66	23
		未選択	1,901	1,442	349	110
		合計	2,346	1,798	415	133
問10 問9のように考える理由について、あなたの考えにおいて重要度の高いものから、4つまで選んでください。	社会性や協調性を養う機会が増える	選択	835	636	157	42
		未選択	1,511	1,162	258	91
		合計	2,346	1,798	415	133
	様々な環境で育った児童同士の交流が期待できる	選択	554	397	133	24
		未選択	1,792	1,401	282	109
		合計	2,346	1,798	415	133
	児童の活躍の場が多くなる	選択	370	283	54	33
		未選択	1,976	1,515	361	100
		合計	2,346	1,798	415	133
	クラブ活動の選択の幅が広がる	選択	168	126	37	5
		未選択	2,178	1,672	378	128
		合計	2,346	1,798	415	133
	児童同士や教員との人間関係を深めやすい	選択	842	661	143	38
		未選択	1,504	1,137	272	95
		合計	2,346	1,798	415	133
	学力を伸ばすことができる	選択	403	339	42	22
		未選択	1,943	1,459	373	111
		合計	2,346	1,798	415	133
	集団内でいろいろな役割分担を経験できる	選択	714	539	140	35
		未選択	1,632	1,259	275	98
		合計	2,346	1,798	415	133
	運動会や遠足、修学旅行等の集団活動の教育効果が上がる	選択	414	315	75	24
		未選択	1,932	1,483	340	109
		合計	2,346	1,798	415	133
各教員の校務等を適切に分担でき、児童と関わる時間が増える	選択	403	268	80	55	
	未選択	1,943	1,530	335	78	
	合計	2,346	1,798	415	133	
教員相互の研修・評価・協力ができ、より良い授業や教育活動が展開できる	選択	258	173	64	21	
	未選択	2,088	1,625	351	112	
	合計	2,346	1,798	415	133	

設問	選択肢	全体	保護者	町民	教職員	
問10 問9のように考える理由について、あなたの考えにおいて重要度の高いものから、4つまで選んでください。	教員の目が一人ひとりの児童に行き届く	選択	1,304	1,023	206	75
		未選択	1,042	775	209	58
		合計	2,346	1,798	415	133
問12 中学校の1学年あたりの学級数は、どの程度がよいと考えますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。	1学級		1	0	1	0
	2学級		25	22	3	0
	3学級		624	458	134	32
	4学級		932	703	162	67
	5学級		524	420	80	24
	6学級以上		192	158	26	8
	無回答		57	46	9	2
	合計	2,355	1,807	415	133	
問13 問12のように考える理由について、あなたの考えにおいて重要度の高いものから、4つまで選んでください。	習熟度別指導などの多様な学習環境が展開できる	選択	633	509	93	31
		未選択	1,714	1,290	322	102
		無回答	2,347	1,799	415	133
	クラス替えにより幅広い人間関係づくりができる	選択	1,164	885	213	66
		未選択	1,183	914	202	67
		合計	2,347	1,799	415	133
	生徒同士で切磋琢磨する機会が増える	選択	543	423	84	36
		未選択	1,804	1,376	331	97
		合計	2,347	1,799	415	133
	社会性や協調性を養う機会が増える	選択	773	597	136	40
		未選択	1,574	1,202	279	93
		合計	2,347	1,799	415	133
	様々な環境で育った生徒同士の交流が期待できる	選択	552	407	125	20
		未選択	1,795	1,392	290	113
		合計	2,347	1,799	415	133
	生徒の活躍の場が多くなる	選択	364	270	62	32
		未選択	1,983	1,529	353	101
		合計	2,347	1,799	415	133
	部活動の選択の幅が広がる	選択	310	248	54	8
		未選択	2,037	1,551	361	125
		合計	2,347	1,799	415	133
	生徒同士や教員との人間関係を深めやすい	選択	727	561	126	40
		未選択	1,620	1,238	289	93
		合計	2,347	1,799	415	133
	学力を伸ばすことができる	選択	440	367	54	19
		未選択	1,907	1,432	361	114
		合計	2,347	1,799	415	133
免許外指導の教科が出ないようにできる	選択	100	65	22	13	
	未選択	2,247	1,734	393	120	
	合計	2,347	1,799	415	133	
集団内でいろいろな役割分担を経験できる	選択	591	436	131	24	
	未選択	1,756	1,363	284	109	
	合計	2,347	1,799	415	133	
体育祭や遠足、修学旅行等の集団活動の教育効果が上がる	選択	537	419	82	36	
	未選択	1,810	1,380	333	97	
	合計	2,347	1,799	415	133	
各教員の校務を適切に分担でき、生徒と関わる時間が増える	選択	335	221	67	47	
	未選択	2,012	1,578	348	86	
	合計	2,347	1,799	415	133	

設問	選択肢	全体	保護者	町民	教職員	
問13 問12のように考える理由について、あなたの考えにおいて重要度の高いものから、4つまで選んでください。	教員相互の研修・評価・協力ができ、より良い授業や教育活動が展開できる	選択	247	167	61	19
		未選択	2,100	1,632	354	114
		合計	2,347	1,799	415	133
	教員の目が一人ひとりの生徒に行き届く	選択	1,033	821	159	53
		未選択	1,314	978	256	80
		合計	2,347	1,799	415	133
問15 今後、小学校の適正規模・配置を検討する場合、優先して配慮すべきことについて、どのように考えますか。あなたの考えにおいて重要度の高いものから3つまで選んでください。	通学路の安全性	選択	1,703	1,346	295	62
		未選択	647	456	120	71
		合計	2,350	1,802	415	133
	学校までの距離が遠距離にならないようにすること	選択	987	769	144	74
		未選択	1,363	1,033	271	59
		合計	2,350	1,802	415	133
	一部の地域に学校が集中しないように地域バランスを考慮すること	選択	599	428	125	46
		未選択	1,751	1,374	290	87
		合計	2,350	1,802	415	133
	子どもの学習環境を良くするために学校設備を充実すること	選択	1,361	1,056	205	100
		未選択	989	746	210	33
		合計	2,350	1,802	415	133
	適正規模・配置計画の検討内容の十分な周知	選択	243	174	44	25
		未選択	2,107	1,628	371	108
		合計	2,350	1,802	415	133
	適正規模・配置計画の配置後、円滑にがっこうせいかつを送るために、対象となる学校間の事前交流を深めること	選択	273	181	77	15
		未選択	2,077	1,621	338	118
		合計	2,350	1,802	415	133
	学校の規模や配置が変わることに対する児童の精神的なケア	選択	500	396	79	25
		未選択	1,850	1,406	336	108
		合計	2,350	1,802	415	133
地域活動とのつながり	選択	292	212	67	13	
	未選択	2,058	1,590	348	120	
	合計	2,350	1,802	415	133	
災害時の避難所として機能すること	選択	479	361	108	10	
	未選択	1,871	1,441	307	123	
	合計	2,350	1,802	415	133	
町の他の事業とのバランスを踏まえ財政的に持続可能となるようにすること	選択	172	115	47	10	
	未選択	2,178	1,687	368	123	
	合計	2,350	1,802	415	133	
問17 今後、中学校の適正規模・配置を検討する場合、優先して配慮すべきことについて、どのように考えますか。あなたの考えにおいて重要度の高いものから3つまで選んでください。	通学路の安全性	選択	1,399	1,135	212	52
		未選択	951	667	203	81
		合計	2,350	1,802	415	133
	学校までの距離が遠距離にならないようにすること	選択	872	677	131	64
		未選択	1,478	1,125	284	69
		合計	2,350	1,802	415	133
	一部の地域に学校が集中しないように地域バランスを考慮すること	選択	596	442	108	46
		未選択	1,754	1,360	307	87
		合計	2,350	1,802	415	133
	子どもの学習環境を良くするために学校設備を充実すること	選択	1,471	1,143	237	91
		未選択	879	659	178	42
		合計	2,350	1,802	415	133
	免許外指導が生じないようにすること	選択	283	210	44	29
		未選択	2,067	1,592	371	104
		合計	2,350	1,802	415	133

設問	選択肢	全体	保護者	町民	教職員	
問17 今後、中学校の適正規模・配置を検討する場合、優先して配慮すべきことについて、どのように考えますか。あなたの考えにおいて重要度の高いものから3つまで選んでください。	適正規模・配置計画の検討内容の十分な周知	選択	268	186	58	24
		未選択	2,082	1,616	357	109
		合計	2,350	1,802	415	133
	適正規模・配置計画の配置後、円滑にがっこうせいかつを送るために、対象となる学校間の事前交流を深めること	選択	310	214	83	13
		未選択	2,040	1,588	332	120
		合計	2,350	1,802	415	133
	学校の規模や配置が変わることに対する児童の精神的なケア	選択	517	406	88	23
		未選択	1,833	1,396	327	110
		合計	2,350	1,802	415	133
	地域活動とのつながり	選択	259	180	67	12
		未選択	2,091	1,622	348	121
		合計	2,350	1,802	415	133
	災害時の待避所として機能すること	選択	383	288	84	11
		未選択	1,967	1,514	331	122
		合計	2,350	1,802	415	133
町の他の事業とのバランスを踏まえ財政的に持続可能となるようにすること	選択	184	122	54	8	
	未選択	2,166	1,680	361	125	
	合計	2,350	1,802	415	133	



※小・中学校両方に通学させている保護者の方は中学校にのみご提出ください
寒川町立学校のめざすべき望ましい教育環境に関するアンケート

令和3年10月 寒川町教育委員会

このアンケートは、お子様が町立学校に通学している全ての保護者の方及び町立学校に勤務する教職員とともに、無作為に抽出された町内在住の18歳以上の方（未就学児の保護者を含む）を対象にお送りしています。

ご返送いただいた回答は、子どもたちのより良い教育環境を検討するための参考として活用させていただくもので、この目的以外には一切使用いたしません。

また、無記名（匿名）での回答ですので、個人が特定されることはございません。保護者又は教職員の皆様の率直なご意見をお寄せくださいますようご協力をお願い申し上げます。

【記入にあたってのお願い】

(1)保護者又は教職員のご本人様をご回答ください。

(2)設問の選択肢の中からご自身の考えに最も近いものを選び、ぬりつぶしてください。

: 空白マーク : 正しいぬりつぶし : 不十分なぬりつぶし

※ぬりつぶす時は、はみ出さないようにしてください。

※この用紙は機械で集計するので、書きこみをしたり、用紙をよごしたりしないでください。

(3)設問は自由記述も含めて全部で19問です。回答目安時間は16分程度です。

(4)ご記入いただいた用紙は、10月12日（火）までに

保護者の方はお子様を通じて担任の先生に、教職員の方は教頭先生にご提出ください。

※小・中学校両方に通学させている保護者の方は中学校にのみご提出ください。

アンケートに関するお問合せ先

寒川町教育委員会 教育政策課

電話 0467-74-1111（内線511～513）

FAX 0467-75-9907

E-mail kyouiku@town.samukawa.kanagawa.jp

【回答者のことについて】

問1 あなたの年齢をお答えください。

- 10歳代 20歳代 30歳代 40歳代
 50歳代 60歳代 70歳以上

問2 あなたの世帯の18歳以下の方の就学等の状況について、該当するものをすべてお答えください
[複数回答可]。

- いない 就学前の乳幼児 小学生
 中学生 高校生 その他

問3 あなたがお住まいの小学校区はどちらですか。

特別な事情により学区外に通学されている場合は、現在通学している小学校をお答えください。
教職員の方の場合は、勤務する学校をお答えください。

- 寒川小 一之宮小 旭小 小谷小 南小
 旭小又は小谷小 中学校勤務

※不明の場合は2/12ページの「学区早見表【小学校】」をご参照ください。

問4 あなたがお住まいの中学校区はどちらですか。

特別な事情により学区外に通学されている場合は、現在通学している中学校をお答えください。
教職員の方の場合は、勤務する学校をお答えください。

- 寒川中 旭が丘中 寒川東中 小学校勤務

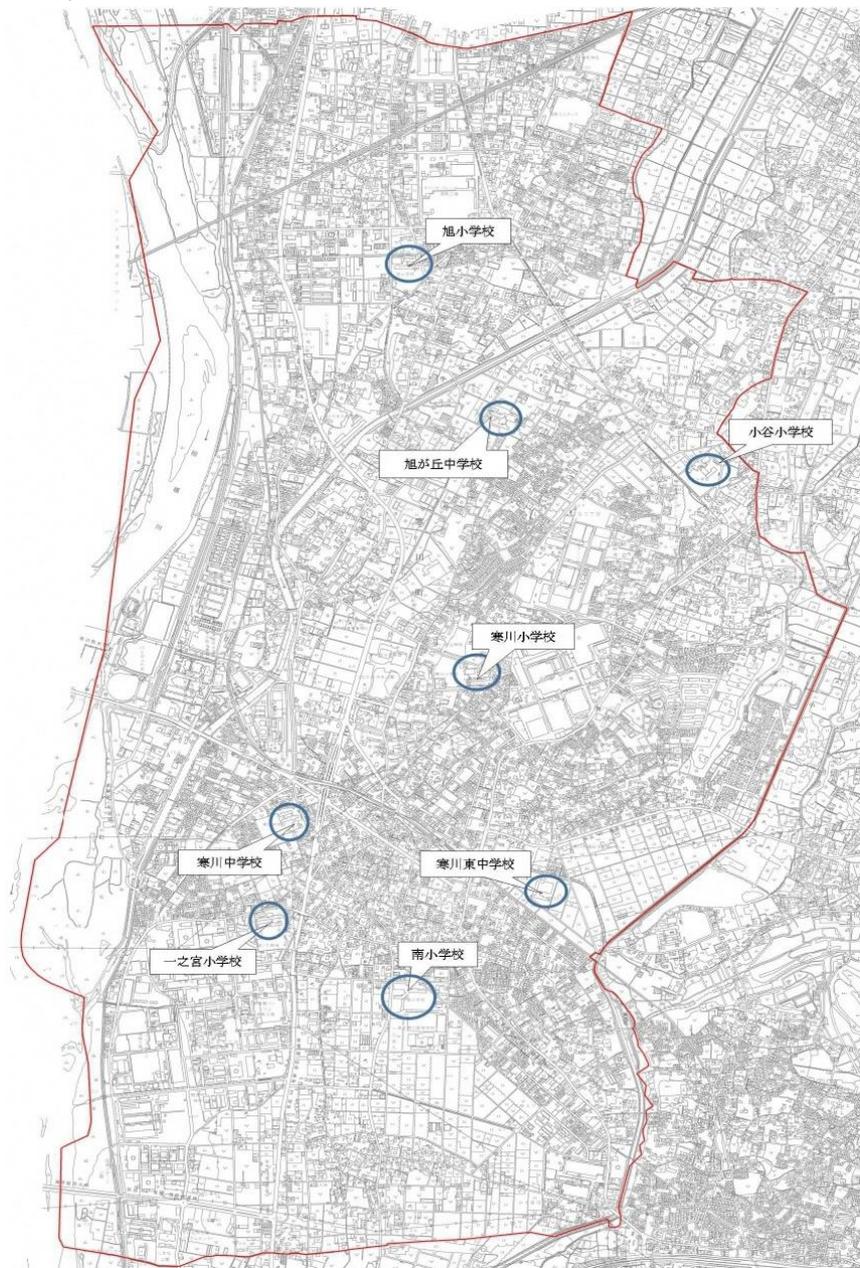
※不明の場合は3/12ページの「学区早見表【中学校】」をご参照ください。

学区早見表【小学校】		
字	丁目（地番）	学区
田端	全域	南小
一之宮	2384番地	寒川小
一之宮	3157番地、2～7丁目、8丁目4番、6～11番、21・22番	一之宮小
一之宮	1丁目、8丁目1～3番・5番・12～20番、9丁目	南小
大曲	137・138番地	寒川小
大曲	1～4丁目	南小
中瀬	全域	南小
岡田	2～2462番地、1～4丁目、5丁目1～17番、6丁目1～6番、8丁目	寒川小
岡田	5丁目18番、6丁目7～10番、7丁目、 3430～3585番地（大蔵地区内とび地）	小谷小
大蔵	2～37番地（岡田地区内とび地）	寒川小
大蔵	233～979番地	小谷小
小谷	57・58・65番地（岡田地区内とび地）、 520・522番地（岡田地区内とび地）	寒川小
小谷	1529～1530番地、1～4丁目	小谷小
小動	全域	小谷小
宮山	1～1072番地、1079番地、1088～1842番地、2091～2099番地 3727～3732番地、3734～3736番地、3746～3814番地、 3822番地、3825～3835番地、3837～4458番地	寒川小
宮山	2045番地（目久尻川より西側）、2142～2199番地、2200～2241番地、 2249～2251番地、2253番地2～4番、2258～2259番地、 2456～2504番地、2714～3725番地、3733番地、3737～3745番地、 3815～3820番地、4459～4506番地	旭小
宮山	1074～1078番地、1080～1086番地、1843～2044番地、 2051～2088番地、2102～2139番地、2242～2247番地、 2252～2253番地、2254番地、2260～2346番地、2505～2582番地	小谷小
宮山	1843～1846番地、1849～1863番地、1873～1900番地、 1908～1941番地、1989番地、2007～2040番地、2051番地－1・8・9、 2052～2084番地、2088番地－1・5、2092番地－1、 2100番地－1・5・9、2101～2105番地、2109～2135番地、2139番地、 2161番地、2182～2183番地、2242～2247番地、2252～2254番地、 2257番地、2260～2288番地、2303番地－1・4、 2304番地－1・4、2333～2334番地、2338番地、3498番地－6、 3508番地、4852番地、4855番地－2、4893番地	旭小 又は 小谷小
倉見	全域	旭小

学区早見表【中学校】		
地区：字	丁目（地番）	学区
田端	全域	寒川中
一之宮	3157番地、1丁目2～5番・11～15番・23・24番、 2～8丁目、9丁目32～38番、2384番地	寒川中
一之宮	1丁目1番・6～10番・16～22番、 9丁目1～31番・39番	寒川東中
大曲	1～4丁目	寒川東中
中瀬	全域	寒川東中
岡田	35・36番地、37～39番地1・2、41番地、59番地3、63～66番地、 68番地、897番地、1112～1164番地	寒川中
岡田	2462番地、3430～3470番地（大蔵地区内とび地）、 3493～3585番地（大蔵地区内とび地）	旭が丘中
岡田	2～34番地、40番地、67番地、69～693番地、798～896番地、 899～1110番地、1166～2442番地、3471番地（大蔵地区内とび地）、 1～8丁目	寒川東中
大蔵	489～496番地、635～1604番地	旭が丘中
大蔵	5～37番地（岡田地区内とび地）、333～395番地	寒川東中
小谷	57・58番地（岡田地区内とび地）	寒川中
小谷	520・522番地（岡田地区内とび地）、1529・1530番地、1～4丁目	旭が丘中
小谷	65番地（岡田地区内とび地）	寒川東中
小動	全域	旭が丘中
宮山	1～393番地、744～1036番地、1038～1045番地、1051番地、 1317～1347番地、3812番地2・6・8、3815番地、3825～3851番地、 3852番地2～5、3855番地、3856番地3・4、3922～4183番地、 4184番地1・2・5・6、4185～4458番地	寒川中
宮山	394～531番地、1050番地、1050番地11・24・54・62・66・71、 1050番地85～89・93～98、1050番地105～107・113・116～118、 1060番地、1071～1316番地、1348～3811番地、3812番地1・7・9、 3813～3814番地、3813～3814番地、3816～3821番地、3852番地1、 3854番地、3856番地1・2、3857～3921番地、4184番地3、 4459～4506番地	旭が丘中
宮山	1037番地、1046～1048番地、1050番地4～10・46～51・57～59、 1050番地63～65・70・92・99・108、1061番地	寒川東中
倉見	全域	旭が丘中

参 考

寒川町立学校配置図



令和3年度寒川町立学校 児童・生徒数及び学級数

令和3年5月1日現在

学校名	児童・生徒数	学級数							
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
寒川小学校	495	3	3	3	3	3	3	2	20
一之宮小学校	363	2	2	2	2	2	2	2	14
旭小学校	689	4	3	4	3	4	3	3	24
小谷小学校	462	3	2	2	3	3	3	3	19
南小学校	567	3	3	3	3	3	3	2	20
寒川中学校	283	3	3	3				2	11
旭が丘中学校	598	5	5	5				4	19
寒川東中学校	379	4	3	4				2	13



【小・中学校における望ましい学校教育について】

問5 期待する子どもの将来の姿はどのようなものですか。
次の1～14の項目について、あなたの考えに近いものを1つずつ選んでください。

		ぜひそう なってほしい	できればそう なってほしい	あまりそうな らなくてもよい	そうならな くてもよい
1	社会規範を身に付け、物事の善悪が判断できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	周囲の人と協力し合いながら物事を進めることができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	礼儀正しく、相手を思いやることができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	自分で考え、判断し、行動することができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	自分のことに責任をもって行動することができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	困難に負けず、粘り強く物事に取り組むことができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	社会や周囲の人の役に立つことができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	自分のもつ知識や技術で、経済的に自立した生活ができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	個性を発揮し、自分の夢を実現できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	自分で新しい道を切り拓いていくことができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11	心身共に健康に生活できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12	リーダーシップを発揮し、集団をまとめ、引っ張っていくことができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13	異なる文化や言語をもつ外国の人たちとコミュニケーションを図ることができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14	情報モラルを含み、コンピュータ等の情報手段を適切に活用することができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

問6 小・中学校において、次の1～19の項目について、どの程度力を入れて取り組んでほしいですか。
あなたの考えに近いものを1つずつ選んでください。

		ぜひ取り組 んでほしい	できれば取り 組んでほしい	あまり取り組 まなくてもよい	取り組まな くてもよい
1	基礎的な学力を確実に身につける授業等の実施	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	習熟度別指導*1 など、学習到達度に応じた授業等の実施	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	少人数学級などによる、個に応じたきめ細かな指導の実施	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	小学校高学年における教科担任制*2 による専門性の高い授業の実施	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	自ら学び自ら考える力を身につけられるよう児童生徒主体の活動を充実すること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	将来に夢や希望がもてるように職業体験などの社会体験活動を充実すること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	学習習慣を身につけられるようにより一層計画的に宿題を課すなどすること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	全ての児童生徒にとってより分かりやすく安心して受けられる授業等を実践すること（ユニバーサル・デザイン化*3）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



		ぜひ取り組 んでほしい	できれば取り 組んでほしい	あまり取り組 まなくてもよい	取り組まな くてもよい
9	健康の保持増進と体力の向上のために、体育、食育などの充実を図ること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	部活動・クラブ活動を通じて、学級や学年の枠を超えて切磋琢磨することによって、芸術文化への親しみ、体力向上、人間関係の構築などを図ること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11	「特別の教科 道徳」を要として、学校の教育活動全体を通じて、道徳教育の充実を図ること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12	協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育成するために、学校行事の充実を図ること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13	郷土の歴史などを学び、ふるさとに愛着をもてるようにすること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14	情報活用能力*4 の育成を図り、情報化社会に対応できるようICT機器を活用した授業等を推進すること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15	外国語によるコミュニケーション能力*5 の育成や多様性の理解を図れるよう外国語教育を充実すること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16	いじめの積極的な認知と情報共有などに努め、いじめのない集団づくりや人権教育を推進すること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17	義務教育9年間を見通した教育活動ができるよう小学校と中学校の連携をさらに推進すること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18	学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）*6 など、地域と学校の連携・協働を図りながら地域の教育力を学校教育に生かすこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
19	教育活動の充実に向けて、教材、設備等の教育環境の十分な整備を図ること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

- * 1 学習内容の理解度に応じてグループ分けをして指導すること
- * 2 内容が高度化・専門化する高学年において、中学校のように教科ごとに専門の先生が授業を行うこと
- * 3 教室環境・学習環境の整備、学習や行動のルールの明示、明確な指示・説明を通じて、全ての児童生徒にとって分かりやすく過ごしやすい授業とすること
- * 4 情報及び情報技術を効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な、情報モラルを含む資質・能力
- * 5 外国語によるコミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、自分の考えなどを思考・判断・表現することができる能力
- * 6 地域住民や保護者等が学校運営に参画する仕組み

【1学級（クラス）あたりの児童・生徒数について】

※回答に当たっては、各問の「参考」欄をご参照ください。

問7 小学校の1学級あたりの児童数について、どの程度がよいと考えますか。
あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 40人 35人 30人 25人 20人以下

※参考1（国の基準及び寒川町の小学校の現状）

< 1学級あたりの児童数 >
 法律改正により、令和3年度から小学校の学級編制の標準（1学級あたりの児童数）を5年間かけて計画的に40人（すでに小学校第1学年は35人）から35人に引き下げることとなりました。
 国による基準 ： 35人（令和3年度より順次導入）
 町内5小学校の平均 ： 約29.8人



※参考2（少人数学級の効果）

「『今後の学級編制及び教職員定数の改善に関する教育関係団体ヒアリング』意見概要」（文部科学省）より

- ①生徒一人ひとりに目が行き届き、個に応じたきめ細かな学習指導が行え、学力向上に効果がある
- ②発言、発表など、子ども一人ひとりの活躍の場が増加している
- ③低学年の少人数学級により、幼児教育から小学校教育への円滑な移行が図られている
- ④ノート指導、作品へのコメントが丁寧にできる
- ⑤教室にゆとりのスペースが生まれ、学習環境が向上している
- ⑥不登校や問題行動の早期対応につながっている
- ⑦生徒は集団内にある所属感・存在感を得られやすく、様々な問題行動や不登校の改善、予防に効果がある
- ⑧幼児教育から小学校教育への円滑な移行が図られている
- ⑨配慮を要する子どもに細やかな対応ができるようになった
- ⑩子どもたちが落ち着いて学校生活が送れる
- ⑪基本的な生活習慣の確立や望ましい学級集団づくりを行いやすくなっている
- ⑫中1に少人数学級を導入した場合に、「中1ギャップ」*7 解消に一定の効果がみられる

*7 児童が、小学校から中学校への進学において新しい環境への学習や生活へ移行する段階で、不登校等が増加したりすること。

※参考3（学級規模が小さくなりすぎる場合の課題）

「『今後の学級編制及び教職員定数の改善に関する教育関係団体ヒアリング』意見概要」（文部科学省）より

- ①少人数の中でのグループ化など、人間関係づくりの面で懸念がある
- ②学級規模が小さくなりすぎる場合、集団的教育が効果的に行えるかどうか、社会性をはぐくむ上での問題点がないかどうか等についても十分議論する必要がある

問8 中学校の1学級あたりの生徒数について、どの程度がよいと考えますか。
あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 40人 35人 30人 25人 20人以下

※参考（国の標準及び寒川町の中学校の現状）

<1学級あたりの生徒数>
国の標準：40人
町内3中学校の平均：約35.3人

【1学年あたりの学級数について】

※回答に当たっては、各問の「参考」欄をご参照ください。

問9 小学校の1学年あたりの学級数は、どの程度がよいと考えますか。
あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 1学級 2学級 3学級 4学級以上

※参考1（国の標準及び寒川町の小学校の現状） 次ページ以降に参考2～4あり

<1学年あたりの学級数>
国の標準：2学級以上3学級以下
町内5小学校の平均：約2.8学級



※参考2（国による望ましい学級数の考え方）

○小学校では、まず複式学級^{*8}を解消するためには少なくとも1学年1学級以上（1校あたり6学級以上）であることが必要となります。また、全学年でクラス替えを可能としたり、学習活動の特質に応じて学級を超えた集団を編成したり、同学年に複数教員を配置するためには1学年2学級以上（1校あたり12学級以上）あることが望ましいものと考えられます。

*8 児童・生徒数が少ないために1つの学年の児童・生徒数だけでは学級の編制ができない場合に、同じ教室に2つの学年を合わせて編制する学級のこと

※参考3（学級数が少ないことによる学校運営上の利点）

「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」（文部科学省）より

- ①一人ひとりの学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい
- ②意見や感想を発表できる機会が多くなる
- ③様々な活動において、一人ひとりがリーダーを務める機会が多くなる
- ④複式学級においては、教師が複数の学年間を行き来する間、児童生徒が相互に学び合う活動を充実させることができる
- ⑤運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える
- ⑥教材・教具などを一人ひとりに行き渡らせやすい
- ⑦異年齢の学習活動を組みやすい、体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる
- ⑧地域の協力を得て、郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい
- ⑨児童生徒の家庭の状況、地域の教育環境などが把握しやすいため、保護者や地域と連携した効果的な生徒指導ができる

※参考4（学級数が少ないことによる学校運営上の課題）

「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」（文部科学省）より

補足：⑩～⑳は学級数が少ないことで配置される教員数が減少することによるもの

- ①クラス替えが全部又は一部の学年でできない
- ②クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない
- ③教員の追加配置なしには、習熟度別指導などクラスの枠を超えた多様な指導形態がとりにくい
- ④クラブ活動や部活動の種類が限定される
- ⑤運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・行事の教育効果が下がる
- ⑥男女比の偏りが生じやすい
- ⑦上級生・下級生間のコミュニケーションが少なくなったり、学習や進路選択の模範となる先輩の数が少なくなったりする
- ⑧体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる
- ⑨班活動やグループ分けに制約が生じる
- ⑩協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じる
- ⑪教科等が得意な子どもの考えにクラス全体が引っ張られがちとなる
- ⑫生徒指導上課題がある子どもの問題行動にクラス全体が大きく影響を受ける
- ⑬児童生徒から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じる
- ⑭教員と児童生徒との心理的な距離が近くなり過ぎる
- ⑮経験年数、専門性、男女比等バランスのとれた教員配置やそれらを生かした指導の充実が困難となる
- ⑯教員個人の力量への依存度が高まり、教育活動が人事異動に過度に左右されたり、教員数の変動により、学校経営が不安定になったりする可能性がある
- ⑰児童生徒の良さが多面的に評価されにくくなる可能性がある、多様な価値観に触れさせることが困難となる



- ⑱チーム・ティーチング*⁹、グループ別指導、習熟度別指導、専科指導*¹⁰等の多様な指導方法をとることが困難となる
- ⑲各教員の校務や行事に関わる負担が重く、校内研修の時間が十分確保できない
- ⑳学年によって学級数や学級当たりの人数が大きく異なる場合、教員間に負担の大きな不均衡が生ずる
- ㉑平日の校外研修や他校で行われる研究協議会等に参加することが困難となる
- ㉒教員同士が切磋琢磨する環境を作りやすく、指導技術の相互伝達がなされにくい（学年会や教科会等が成立しない）
- ㉓学校が直面する様々な課題に組織的に対応することが困難な場合がある
- ㉔免許外指導*¹¹の教科が生まれる可能性がある
- ㉕クラブ活動や部活動の指導者確保が困難となる

* 9 複数の教員が役割を分担し、協力し合いながら指導計画を立て、指導する方式のこと

* 10 小学校において、理科、音楽などの専門性の高い教科について、その教科を専門に担当する教員が授業を行うこと

* 11 学校規模等の関係上、ある教科の担任教員を配置できないとき、当該教科について免許状を有しない教諭が担任することを許可する制度による指導

問10 問9のように考える理由について、あなたの考えにおいて重要度の高いものから、4つまで選んでください。

- 習熟度別指導や専科指導などの多様な学習環境が展開できる
- クラス替えにより幅広い人間関係づくりができる
- 児童同士で切磋琢磨する機会が増える
- 社会性や協調性を養う機会が増える
- 様々な環境で育った児童同士の交流が期待できる
- 児童の活躍の場が多くなる
- クラブ活動の選択の幅が広がる
- 児童同士や教員との人間関係を深めやすい
- 学力を伸ばすことができる
- 集団内でいろいろな役割分担を経験できる
- 運動会や遠足、修学旅行等の集団活動の教育効果が上がる
- 各教員の校務*¹²等を適切に分担でき、児童と関わる時間が増える
- 教員相互の研修・評価・協力ができ、より良い授業や教育活動が展開できる
- 教員の目が一人ひとりの児童に行き届く

* 12 学校教育の目標の実現に向けて学校運営をする上で必要な仕事

問11 問10で選んだ以外に、他の理由があれば、以下にご記入ください。



問12 中学校の1学年あたりの学級数は、どの程度がよいと考えますか。
あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

- 1学級 2学級 3学級 4学級
 5学級 6学級以上

※参考1（国の標準及び寒川町の中学校の現状）

<1学年あたりの学級数>
 国の標準：4学級以上6学級以下
 町内3中学校の平均：約3.9学級

※参考2（国による望ましい学級数の考え方）

○中学校についても、全学年でクラス替えを可能としたり、学級を超えた集団編成を可能としたり、同学年に複数教員を配置するためには、少なくとも1学年2学級以上（1校あたり6学級以上）が必要となります。また、免許外指導をなくしたり、全ての授業で教科担任による学習指導を行ったりするためには、少なくとも1校あたり9学級以上（1学年3学級）を確保することが望ましいものと考えられます。

問13 問12のように考える理由について、あなたの考えにおいて重要度の高いものから、4つまで選んでください。

- 習熟度別指導などの多様な学習環境が展開できる
- クラス替えにより幅広い人間関係づくりができる
- 生徒同士で切磋琢磨する機会が増える
- 社会性や協調性を養う機会が増える
- 様々な環境で育った生徒同士の交流が期待できる
- 生徒の活躍の場が多くなる
- 部活動の選択の幅が広がる
- 生徒同士や教員との人間関係を深めやすい
- 学力を伸ばすことができる
- 免許外指導の教科が出ないようにできる
- 集団内でいろいろな役割分担を経験できる
- 体育祭や遠足、修学旅行等の集団活動の教育効果が上がる
- 各教員の校務を適切に分担でき、生徒と関わる時間が増える
- 教員相互の研修・評価・協力ができ、より良い授業や教育活動が展開できる
- 教員の目が一人ひとりの生徒に行き届く

問14 問13で選んだ以外に、他の理由があれば、以下にご記入ください。



【小・中学校における望ましい学校教育について】

問15 今後、小学校の適正規模・配置を検討する場合、優先して配慮すべきことについて、どのように考えますか。あなたの考えにおいて重要度の高いものから3つまで選んでください。

- 通学路の安全性
- 学校までの距離が遠距離^{*13}にならないようにすること
- 一部の地域に学校が集中しないように地域バランスを考慮すること
- 子どもの学習環境を良くするために学校設備を充実すること
- 適正規模・配置計画の検討内容の十分な周知
- 適正規模・配置後、円滑に学校生活を送るために、対象となる学校間の事前交流を深めること
- 学校の規模や配置が変わることに対する児童の精神的なケア
- 地域活動とのつながり
- 災害時の避難所として機能すること
- 町の他の事業とのバランスを踏まえ財政的に持続可能となるようにすること

*13 通学距離について、「教育上適切な環境」（学校教育法施行規則）、「小学校はおおむね4km以内、中学校はおおむね6km以内」（義務教育諸学校設置費国庫負担法施行令）、「通学時間がおおむね1時間以内」（公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き）などが基準（目安）とされています。

問16 問15で選んだ以外に、他の理由があれば、以下にご記入ください。

問17 今後、中学校の適正規模・配置を検討する場合、優先して配慮すべきことについて、どのように考えますか。あなたの考えにおいて重要度の高いものから3つまで選んでください。

- 通学路の安全性
- 学校までの距離が遠距離にならないようにすること
- 一部の地域に学校が集中しないように地域バランスを考慮すること
- 子どもの学習環境を良くするために学校設備を充実すること
- 免許外指導が生じないようにすること
- 適正規模・配置計画の検討内容の十分な周知
- 適正規模・配置後、円滑に学校生活を送るために、対象となる学校間の事前交流を深めること
- 学校の規模や配置が変わることに対する生徒の精神的なケア
- 地域活動とのつながり
- 災害時の避難所として機能すること
- 町の他の事業とのバランスを踏まえ財政的に持続可能となるようにすること



問18 問17で選んだ以外に、他に優先して配慮すべきことがあれば、以下にご記入ください。

問19 寒川町における、小・中学校のめざすべき望ましい教育環境について、ご意見等がございましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。